

TX210 シリーズ

■ 熱転写式

■ 感熱式

デスクトップバーコードプリンタ



シリーズ一覧：

TX210 / TX310 / TX610

取扱説明書

著作権情報

©2021 TSC Auto ID Technology Co., Ltd.

本説明書、また本説明書内に記載されるプリンタ搭載ソフトウェアおよびファームウェアの著作権はTSC Auto ID Technology Co., Ltdの所有です。無断転載および複製を禁じます。

CG Triumvirateは、Agfa Corporationの商標です。CG Triumvirate Bold CondensedフォントはMonotype Corporationによる特許所有です。Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。

その他の商標は各社の所有です。本書における情報は事前の通知なしに変更される場合があります、TSC Auto ID Technology Co.側のいかなる義務も示すではありません。本書のいかなる部分も、TSC Auto ID Technology Co.の書面による事前の許可なく、購入者の個人的使用以外の目的で複製または転送することは、形態、手段のいかんを問わず、固く禁止します。



目次

1.はじめに.....	1
1.1 製品の仕様と特徴.....	2
2.操作概要.....	6
2.1 開梱検査	6
2.2 プリンタ概要	7
2.2.1 正面図.....	7
2.2.2 内部図.....	8
2.2.3 背面図.....	9
3.設定.....	10
3.1 プリンタの設定.....	10
3.2 リボンの装着.....	11
3.3 メディアの取り付け	14
3.4 カッターモードでのメディアの取り付け (オプション).....	16
4.LED とボタン機能.....	17
4.1 LED 表示およびキー	17
4.2 通常ボタンの機能.....	18
4.3 パワーオン・ユーティリティ.....	19
5.TSC コンソール.....	20

5.1 TSC コンソールの起動.....	20
5.2 イーサネットインターフェイスの設定.....	22
5.3 Wi-Fi の設定と TSC コンソールインターフェースへの追加.....	24
5.4 プリンタの Wi-Fi 設定の初期化.....	27
5.5 TPH 保守.....	28
5.6 プリンタ機能.....	29
5.7 印刷後動作の設定.....	30
6.LCD メニュー機能.....	31
6.3 TSPL.....	33
6.4 ZPL2.....	35
6.5 センサー.....	38
6.6 インターフェイス.....	39
6.6.1 シリアル通信.....	40
6.6.2 イーサネット.....	41
6.6.3 Bluetooth.....	42
6.6.4 Wi-Fi.....	43
6.7 ファイルマネージャ.....	44
6.8 診断.....	45
6.9 詳細.....	46
6.10 サービス.....	47



7.トラブルシューティング	48
8.メンテナンス.....	52
9.事業コンプライアンスおよび認可	54
10.改訂履歴.....	57

1.はじめに

TSC バーコードプリンタをご購入いただき、誠にありがとうございます。

TX210 シリーズの熱転写デスクトップバーコードプリンタは、このクラスの他のどのプリンタよりも多くの印刷用途に対応します。**3** つのモデルをご利用いただけます。**4** インチ幅の **TX210** シリーズは、大量の **4x6** 出荷ラベル、高解像度の製品マーキングおよびグラフィックソリューションから、電子機器マーキング用途で使用される高解像度ラベルまですべてに対応しています。

プリンターは、**1** インチのコアに **300** メートルの大きなリボンサプライを使用しているため、時間と費用の両方を節約できます。**TX210** シリーズは、使いやすいスプリング式センターバイアスクラムシェルデザインを備えています。これにより、**5** インチメディアロールを簡単に取り付けることができます。プリンタ構造は、市場に出回っている他の熱転写メカニズムよりも強力かつ耐久性のある堅牢な二重壁設計を備えています。搭載されているモーターは強力であり、**300** メートルの長さのリボンを処理することができます。

すべての **TSC** プリンタと同様に **TX210** シリーズは **TSPL-EZ™** プリンタ制御言語を搭載しており、他の **TSC** プリンタ言語と完全互換です。また、**TPL**E (Translation Printer Language Eltron®) および **TPL**Z (Translation Printer Language Zebra®) をサポートしています。言語は自動的に各ラベルの形式を解釈して翻訳し、プリンタに送信します。また、**TSPL-EZ™**には、一般的に高価なプリンタでしか見られない内部スケーラブル **TrueType** フォント (**Monotype®**フォントエンジンに基づく)を装備しています。

本書は、このプリンタの操作方法を簡単に紹介する参考資料となります。当社の **TSC** プリンターには、ラベルテンプレートを作成するためのラベル作成用の **Windows** 対応ソフトウェアが付属しています。システムを統合する場合は、**TSPL/TSPL2** プリンターのプログラミングマニュアルまたは **SDK** を当社の **Web** サイト(<https://www.tscprinters.com>)からダウンロードしてご利用ください。

1.1 製品の仕様と特徴

プリンタモデル	TX210	TX310	TX610
解像度	8 ドット/mm (203 DPI)	12 ドット/mm (300 DPI)	24 ドット/mm (600 DPI)
印字方式	熱転写式および感熱式		
印刷速度	203 mm (8 インチ)/秒	152 mm (6 インチ)/秒	102 mm (4 インチ)/秒
最大印字幅	108 mm (4.25 インチ)	106 mm (4.17 インチ)	106 mm (4.17 インチ)
最大印字長	25,400 mm (1,000 インチ)	11,430 mm (450 インチ)	2,540 mm (100 インチ)
ケース	二層プラスチックのクラムシェル		
リボン	1 インチペーパーコア、300m 長さ、最大外径 67 mm		
リボン幅	40 ~ 110 mm		
プロセッサ	32-bit RISC プロセッサ		
メモリ	<ul style="list-style-type: none">■ 128 MB フラッシュメモリ■ 128 MB SDRAM■ 最大 32GB までの FLASH メモリ拡張用マイクロ SD FLASH メモリカードリーダー		
インターフェイス	<ul style="list-style-type: none">■ RS-232■ USB 2.0■ イーサネット■ USB ホスト■ 内蔵 Bluetooth MFi 5.0 (工場出荷オプション)■ パラレルポート (工場出荷オプション)■ 802.11 a/b/g/n/ac Wi-Fi + BT コンボモジュール (ユーザーオプション)		
付属電源アダプタ	TX210 および TX310 アダプタの仕様: <ul style="list-style-type: none">■ 入力: AC 100 ~ 240 V、50 ~ 60 Hz		

- 出力:DC 24.0 V、3.75 A、90.0 W

TX610 アダプタの仕様:

- 入力:AC 100 ~ 240 V、50 ~ 60 Hz
- 出力:DC 24.0 V、5.41 A、130.0 W

LCD

- LCD ディスプレイ
 - 3.5 インチ カラー TFT ディスプレイ、320 x 240 ピクセル
 - メニューの内容、言語、操作方法は MH 3.5 インチ LCD ディスプレイと同じです
- 6 x ボタン
 - ナビゲーションボタン、上、下、左、右の 4 つのボタン
 - 1 x メニューボタン
 - 1 x フィード/一時停止/選択ボタン

LED モデル用の UI と操作ボタン

- プリンタ ステータスを示すための 8 つのアイコンを搭載するアイコンパネル
- 1 x フィード/一時停止ボタン

センサー

- 透過タイプギャップセンサー
- ブラックマークセンサー
- リボンエンドセンサー (透過式)
- ヘッドオープンセンサー
- リボンエンドセンサー
- リボン近傍センサー

リアルタイムクロック

- LCD モデル: 標準
- LED モデル: オプション

内蔵フォント

- 英数ビットマップフォント(8 種類)
- Monotype Imaging® スケーラブル(CG Triumvirate Bold Condensed)フォント 1 種

バーコード

1D バーコードリスト: Code128UCC、Code128 サブセット A、B、C、EAN128、Interleaved 2 of 5、チェックデジット付き Interleaved 2 of 5、Standard 2 of 5、Industrial 2 of 5、Code39、チェックデジット付き Code39、Code93、EAN13、EAN8、UPCA、UPCE、EAN および UPC2(5) デジッタ

ドオン、Codabar、Postnet、MSI、チェックデジット付き MSI、PLESSEY、China post、ITF14、EAN14、Code11、TELEPEN、TELEPEN 番号、PLANET、Code49、Deutsche Post Identcode、Deutsche Post Leitcode、LOGMARS

2D バーコードリスト: CODABLOCK F モード、GS1 DataBar、GS1 DataMatrix、Maxicode、AZTEC、PDF417、QR コード、Micro PDF417、TLC39

フォント&バーコード回転

0°、90°、180°、270°

プリンタ言語

TSPL-EZD (EPL、ZPL、ZPL II、DPL と互換性あり)

メディアタイプ

連続、ブラックマーク、ギャップのあるラベル、ノッチメディア、パンチ穴メディア

メディア幅

19 mm ~ 112 mm

メディア厚み

0.055mm ~ 0.0254mm

メディア ID コア

1 インチおよび 1.5 インチのペーパーコア

ラベル長

5 mm ~ 最大長

環境条件

- 動作: 5 ~ 40 °C、25 ~ 85 % 結露なきこと
- 保存環境: -40 ~ 60 °C、10 ~ 90 % 結露なきこと

安全規格

FCC Class B、CE Class B、RCM、UL、cUL、TUV/safety、CCC、BIS、EAC、BSMI、KC (90W)、Mexico CoC

環境への配慮

RoHS、WEEE、REACH に準拠

アクセサリ

- Windows ラベリングソフトウェア CD ディスク
- クイックスタートガイド
- USB ケーブル
- 電源コード
- ユニバーサルスイッチング電源アダプタ
- 1 インチリボンスピンドル x 2
- 1 インチリボンペーパーコア x 1

工場出荷オプション

- 内蔵 Bluetooth 5.0 MFi
- パラレルポート (工場出荷オプション)

販売店オプション

- ピールオフモジュール
- カッターモジュール (フルカットカッターモジュール)

ユーザーオプション

- USB ケーブル (1.5 m)
- 3 インチコアラベルスピンドル付属外部ロールマウント
- 802.11 a/b/g/n/ac Wi-Fi + BT コンボモジュール (ユーザーオプション)

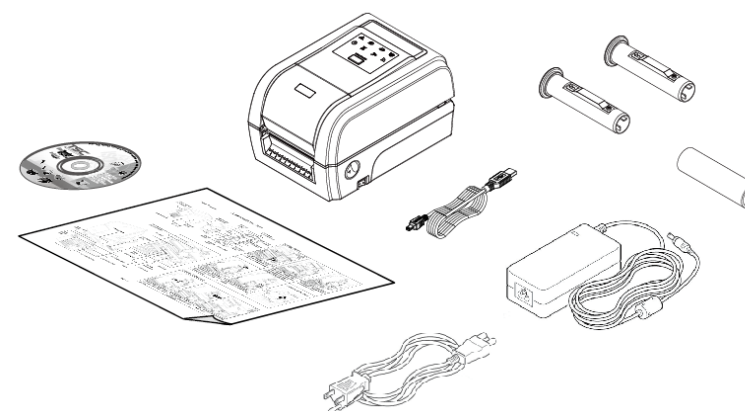
2.操作概要

2.1 開梱検査

このプリンタは出荷中に損傷しないよう特別な梱包を行っています。バーコードプリンタを受け取ったら、すぐにパッケージとプリンタを注意深く点検してください。プリンタを返送する際に必要な場合があるので、梱包資材は保存しておいてください。

プリンタのカートンには、次の品目が含まれています。

- 1 x プリンタユニット
- 1 x Windows ラベリングソフトウェア/Windows ドライバー CD ディスク
- 1 x クイックインストールガイド
- 1 x 電源コード
- 1 x 自動切り替え電源装置
- 1 x USB インターフェイスクーブル
- 2 x リボンスピンドル
- 1 x ペーパーコア



部品が不足している場合は、購入された小売店または販売業者のカスタマーサービス部に連絡してください。

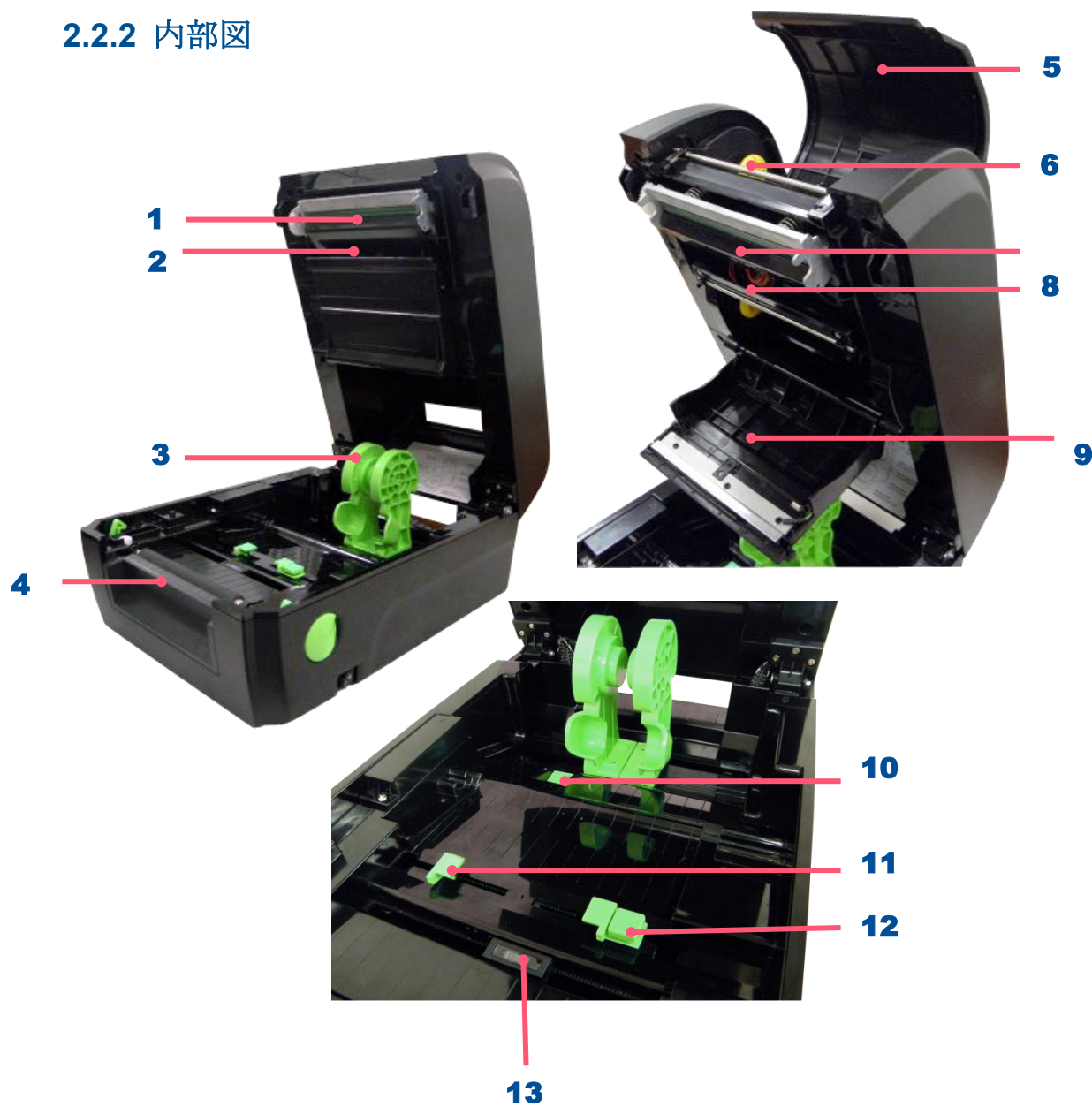
2.2 プリンタ概要

2.2.1 正面図



1. LED インジケータ
2. フィード/一時停止ボタン
3. 排紙シュート
4. 上部カバーオープンレバー
5. 電源スイッチ

2.2.2 内部図



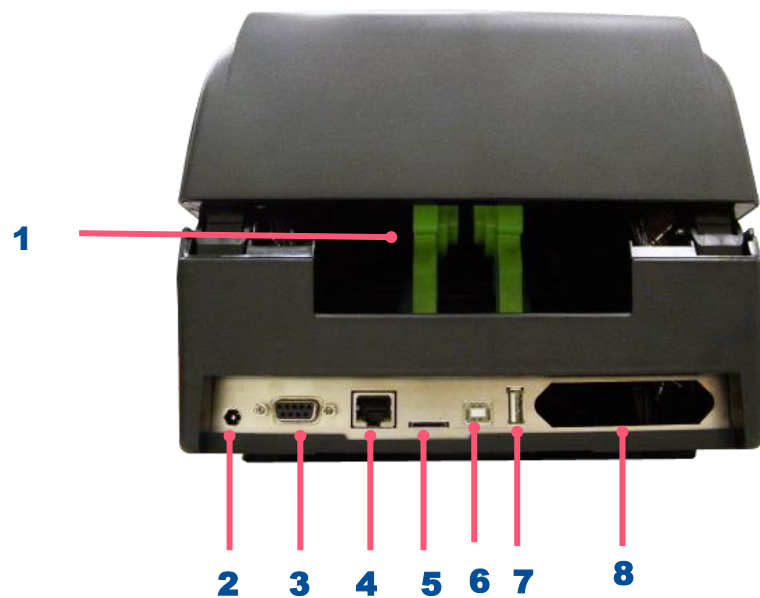
1. リボン巻き戻しギア
2. ギャップセンサー (送信器)
3. メディアホルダ
4. プラテンローラー
5. リボンアクセスカバー
6. リボン巻き戻しハブ
7. プリンタヘッド
8. リボンサプライハブ
9. メディアカバー
10. メディアホルダロックスイッチ
11. メディアガイド
12. ブラックマークセンサー/ギャップセンサー (受信器)
13. メディアガイド調整ノブ

△注意：

指やその他の体の部分をプリンタカバーに近づけないでください。



2.2.3 背面図



1. 外部ラベルエントランスシュート
2. 電源ジャックソケット
3. RS-232C インターフェイス
4. イーサネットインターフェイス
5. * マイクロ SD カードソケット
6. USB インターフェイス
7. USB ホスト
8. セントロニクスインターフェイス

△注意：

指やその他の身体部分を外部ラベルの入口シュートに近づけないでください。



注記：このインターフェイス画像は参照用です。インターフェイスの可用性については製品仕様をご覧ください。

3.設定

3.1 プリンタの設定

1. プリンタを平らな面に置きます。
 2. プリンタの電源がオフになっていることを確認します。
 3. 付属の USB ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。
 4. 電源コードを差し込みます。
- ◆ 注記:プリンタの電源をオフにしてから、電源コードをプリンタの電源ジャックに差し込んでください。

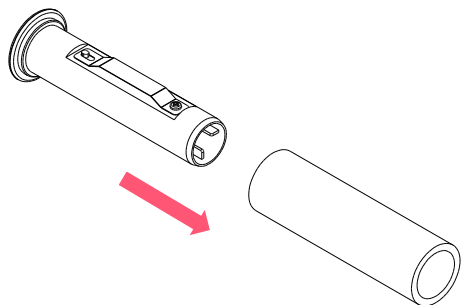
3.2 リボンの装着



1. プリンタの上部カバーを開きます



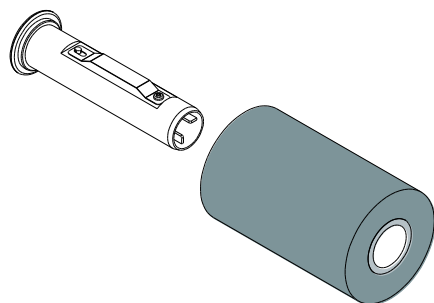
2. リボンアクセスカバーおよびメディアカバーを開きます。



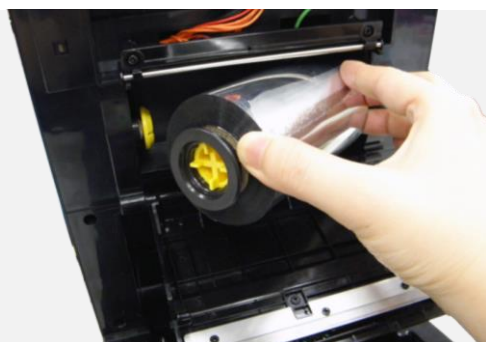
3. 巻き戻しスピンドルをペーパーコアに挿入します。



4. 最初にペーパーコアの右側を巻き戻しハブに取り付け、次に左側のノッチを合わせてスポークに取り付けます。



5. リボンスピンドルをリボンコアに挿入します。



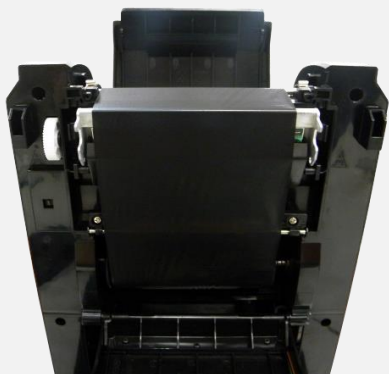
6. リボンの右側を最初にサプライハブに取り付け、次に左側のノッチを合わせてスポークに取り付けます。



注記:スピンドルの黄色い部分は左側にあります。



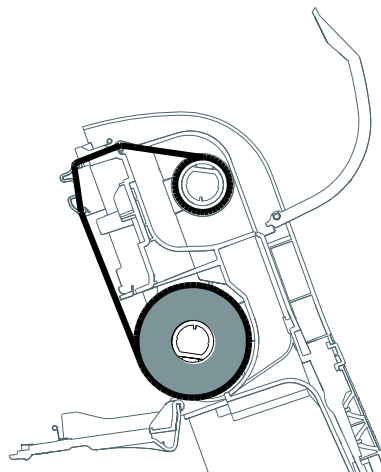
7. リボンをリボン巻き戻しペーパーコアに留めます。



8. リボンのプラスチックリーダーが完全に巻かれるまで、リボン巻き戻しギアを回します。リボンアクセスカバーと上部カバーを閉じます。



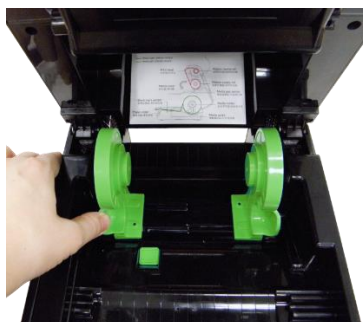
リボンの取り付け経路



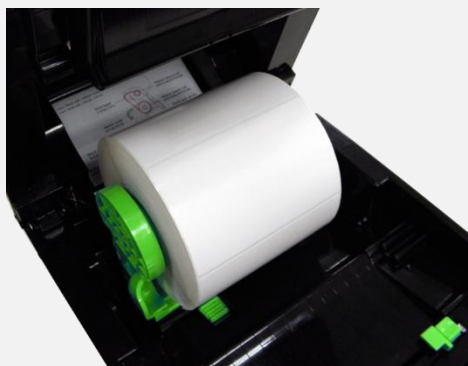
3.3 メディアの取り付け



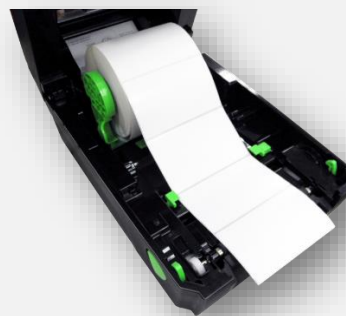
1. タブを引いて、プリンタの上部カバーを開きます。



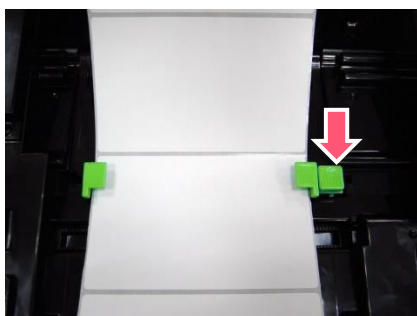
2. メディアホルダーをラベルロール幅まで切り離します。



3. ロールをホルダーの間に置きます。



4. 印刷面を上に向けた状態でペーパーをメディアガイドおよびメディアセンサーに通して置き、ラベルの先端をプラテンローラー上に配置します。



5. メディアガイド調整ボタンを押して、ラベル幅に合わせてメディアガイドを動かします。

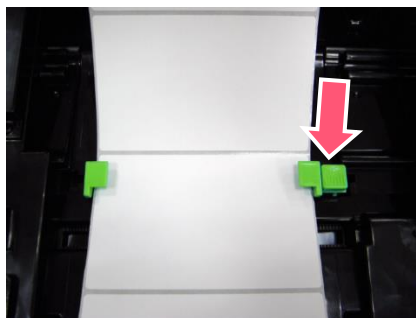


6. ハードウェアまたはソフトウェアを使用して、上部カバーをそっと閉じて校正を行います。(第 4 章と第 5 章を参照してください)

3.4 ピールオフモードでのメディアの取り付け (オプション)



1. メディアを取り付け、校正を行う場合は、セクション 3.3 を参照してください。



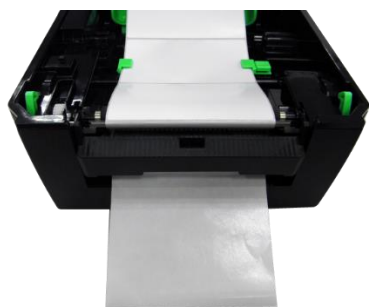
2. メディアガイド調整ボタンを押して、ラベル幅に合わせてメディアガイドを動かします。



3. プリンタ正面からラベルを引き出し、ラベルをいくつか剥がしてライナーのみを残します。



4. ピールオフカバーを開きます。ライナーをピールオフカバー スロットにフィードします。



5. ピールオフカバーとプリンタカバーを閉じ、ソフトウェアを使用して、プリンタのポストアクションをピールオフモードに設定します。(5 章を参照してください)



6. テストのためラベルを印刷します。

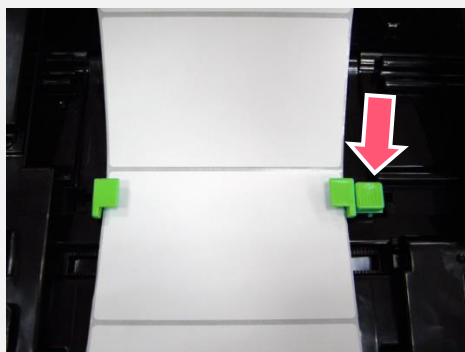
3.4 カッターモードでのメディアの取り付け (オプション)



1. メディアを取り付ける場合は、セクション 3.3 を参照してください。



2. ペーパーをカッターペーパー開口部を通して送ります。



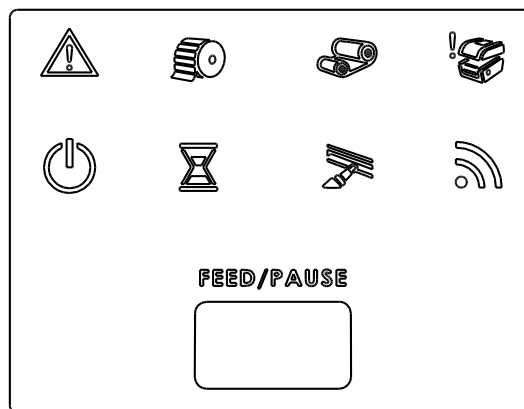
3. メディアガイド調整ボタンを押して、ラベル幅に合わせてメディアガイドを動かします。



4. ピールオフカバーを開きます。ライナーをピールオフカバースロットにフィードします。
5. ソフトウェアを使用して、メディアセンサーの種類を設定し、選択したセンサーを調整し、印刷後動作を「CUTTER」に設定します。(第 5 章を参照してください)

4.LED とボタン機能

4.1 LED 表示およびキー



LED	ステータス	表示	LED	ステータス	表示
	オン	その他のエラー		オン	プリンタ準備完了
				点滅中	一時停止
	オン	紙切れ		オン	メモリの消去中
	点滅中	紙詰まり		点滅中	ファイルのダウンロード中
	オン	リボン切れ		点滅中	印刷ヘッドを清掃する必要があります
	点滅中	リボンが終わりに近づいています			
	オン	プリンタヘッドオープン		点滅中	RF 通信

4.2 通常ボタンの機能

1. フィードラベル

プリンタの用意ができたなら、ボタンを押して1つのラベルを次のラベルの先頭に送り込みます。


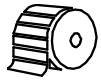
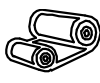



2. 印刷ジョブの一時停止

プリンタの印刷中にボタンを押すと、印刷ジョブが一時停止します。プリンタが一時停止すると **LED** が緑に点滅します。ボタンを再び押すと、印刷ジョブが継続されます。

4.3 パワーオン・ユーティリティ

パワーオンユーティリティにより、基本的な機能を行います。また、以下の手順でアクティブ化できます：
電源をオフにし、フィードボタンを押し続けます。電源を開き、LED の色に応じてボタンを放します。

設定の順序：

機能 \ LED の色	赤  (点滅 5 回)	赤  (点滅 5 回)	赤  (点滅 5 回)	赤  (点滅 5 回)	緑  (点滅 5 回)	緑  (点灯)
1. センサー校正 (ギャップ/ブラックマークセンサー)	リリース					
2. セルフテスト (ダンプモードに移行します)		リリース				
3. 工場出荷時デフォルト			リリース			
4. B ライン校正				リリース		
5. Gap Calibration(ギャップ校正)					リリース	
6. 準備ができている (AUTO.BAS をスキップ)						リリース

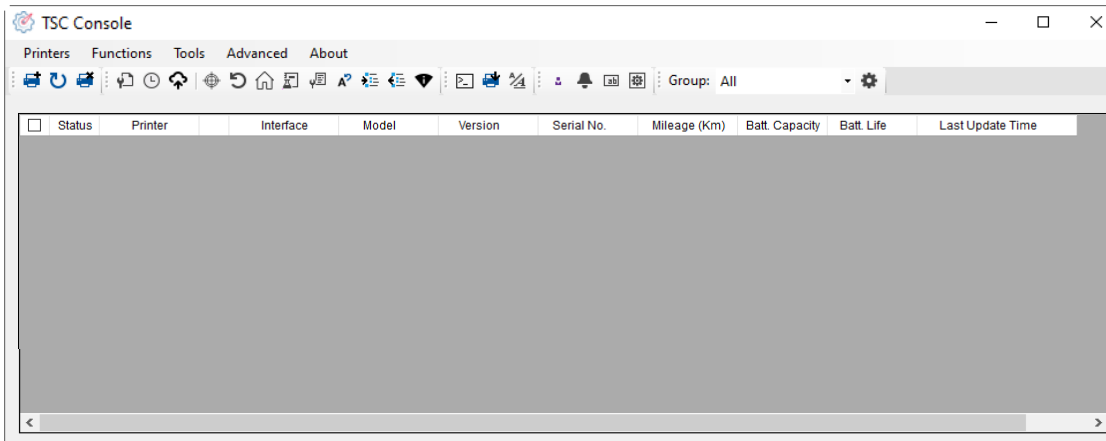
5.TSC コンソール

TSC コンソールは、プリンタ管理、診断ツール、CommTool、プリンタ Web ページの設定を組み合わせた管理ツールです。これにより、プリンタの設定/ステータスを調整したり、プリンタの設定を変更したり、グラフィックをダウンロードしたり、フォント、グラフィック、ラベルテンプレートを展開したり、プリンタグループのファームウェアをアップグレードしたり、同時に追加コマンドをプリンタに送信したりできます。

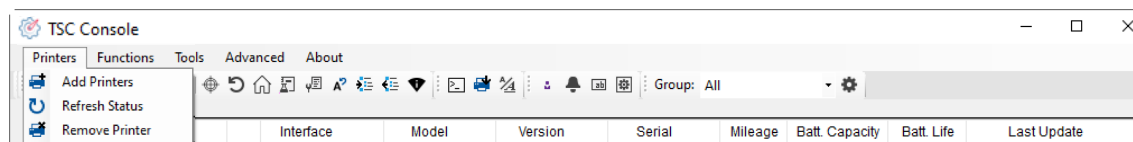
※ バージョン **A2.12** 以前のプリンタファームウェアは、コマンドポートとしてポート **9100** のみを使用します。バージョン **A2.12** 以降のプリンタファームウェアは、コマンドポートとしてポート **6101** を使用します。

5.1 TSC コンソールの起動

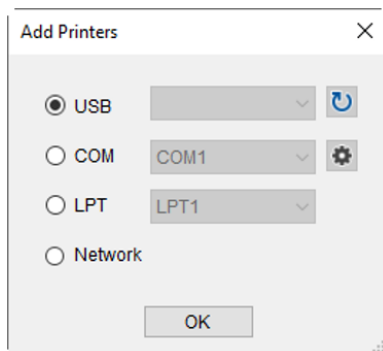
1. TSC コンソールアイコンをダブルクリックして、ソフトウェアを起動します。



2. 「プリンタ」 > 「プリンタの追加」をクリックして、手動でプリンタを追加します。

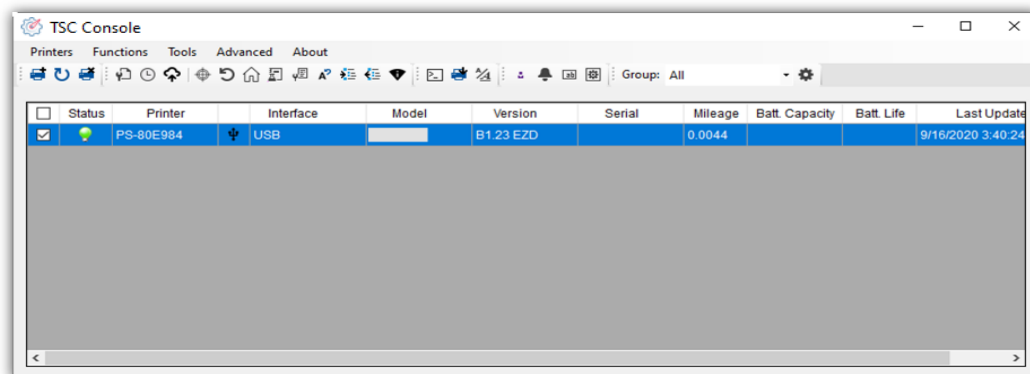


3. プリンタの現在のインターフェイスを選択します。



4. プリンタが **TSC** コンソールのインターフェイスに追加されます。

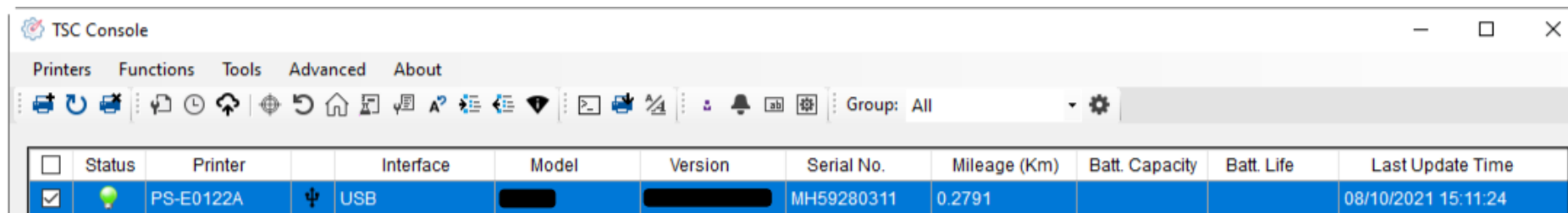
5. プリンタを選択し、設定を行います。



■ 詳細については、**TSC コンソールの取扱説明書**を参照してください。

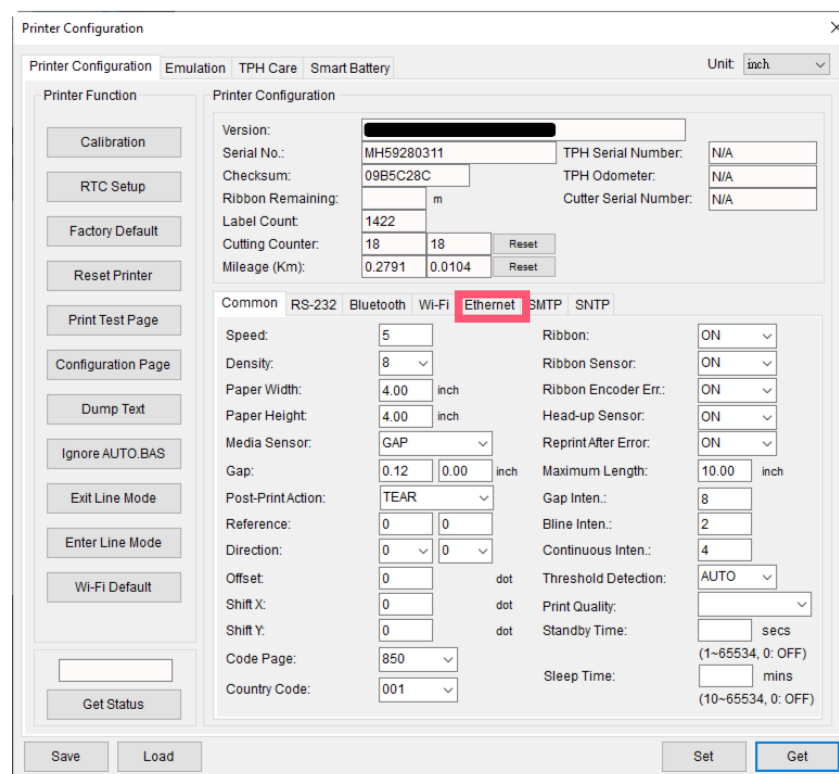
5.2 イーサネットインターフェイスの設定

- **USB** または **COM** を使用して、**TSC** コンソール上にインターフェイスを確立します。



Status	Printer	Interface	Model	Version	Serial No.	Mileage (Km)	Batt. Capacity	Batt. Life	Last Update Time
<input checked="" type="checkbox"/>	PS-E0122A	USB			MH59280311	0.2791			08/10/2021 15:11:24

- ダブルクリックして、「プリンタ構成」ページに入り、「イーサネット」タブをクリックして、「IP アドレス」を確認します。



Printer Configuration

Printer Configuration Emulation TPH Care Smart Battery Unit: inch

Printer Function

Calibration
RTC Setup
Factory Default
Reset Printer
Print Test Page
Configuration Page
Dump Text
Ignore AUTO.BAS
Exit Line Mode
Enter Line Mode
Wi-Fi Default
Get Status

Printer Configuration

Version: [redacted]
Serial No.: MH59280311
Checksum: 09B5C28C
Ribbon Remaining: [redacted] m
Label Count: 1422
Cutting Counter: 18 18
Mileage (Km): 0.2791 0.0104

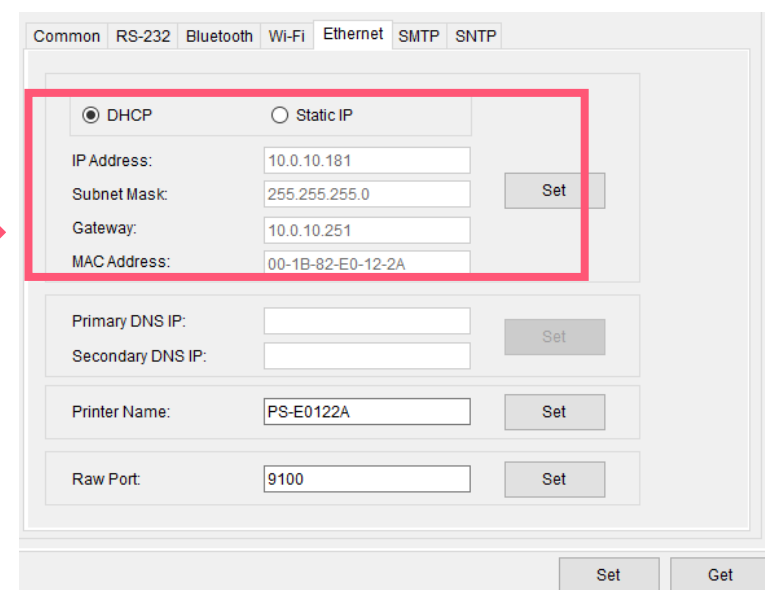
TPH Serial Number: N/A
TPH Odometer: N/A
Cutter Serial Number: N/A

Common RS-232 Bluetooth Wi-Fi **Ethernet** SMTP SNTP

Speed: 5
Density: 8
Paper Width: 4.00 inch
Paper Height: 4.00 inch
Media Sensor: GAP
Gap: 0.12 0.00 inch
Post-Print Action: TEAR
Reference: 0 0
Direction: 0 0
Offset: 0 dot
Shift X: 0 dot
Shift Y: 0 dot
Code Page: 850
Country Code: 001

Ribbon: ON
Ribbon Sensor: ON
Ribbon Encoder Err.: ON
Head-up Sensor: ON
Reprint After Error: ON
Maximum Length: 10.00 inch
Gap Inten.: 8
Blind Inten.: 2
Continuous Inten.: 4
Threshold Detection: AUTO
Print Quality: [redacted]
Standby Time: [redacted] secs
Sleep Time: [redacted] mins

Save Load Set Get



Common RS-232 Bluetooth Wi-Fi **Ethernet** SMTP SNTP

DHCP Static IP

IP Address: 10.0.10.181
Subnet Mask: 255.255.255.0
Gateway: 10.0.10.251
MAC Address: 00-1B-82-E0-12-2A

Set

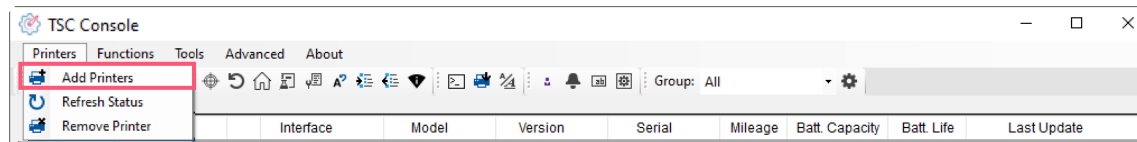
Primary DNS IP: [redacted] Set
Secondary DNS IP: [redacted] Set

Printer Name: PS-E0122A Set

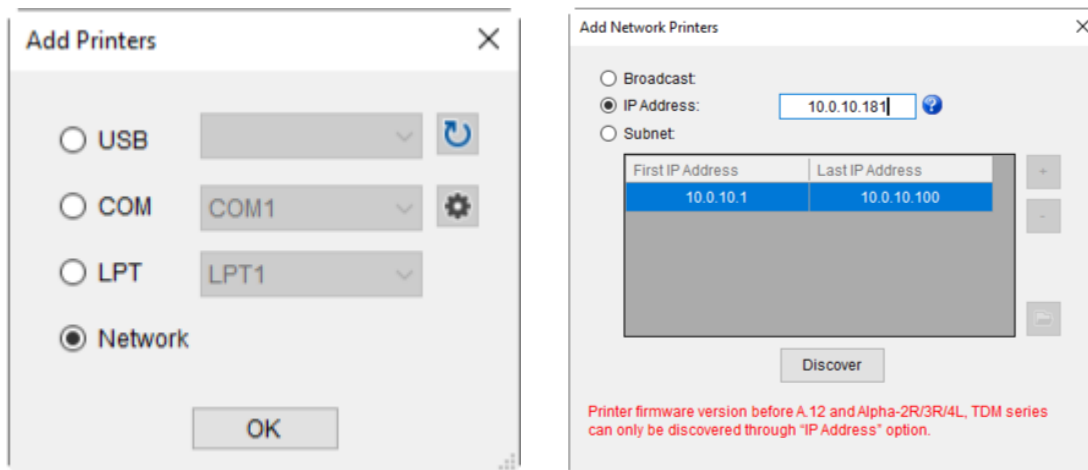
Raw Port: 9100 Set

Set Get

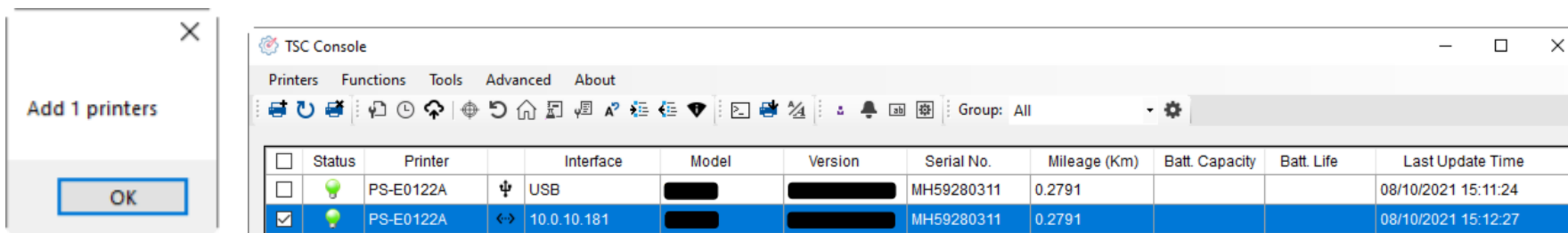
- **TSC** コンソールの「メイン」ページに戻り、左上の「プリンタの追加」をクリックします。



- 「ネットワーク」を選択し、「IP アドレス」を入力して、「検出」をクリックし、イーサネットインターフェイスを確立します。

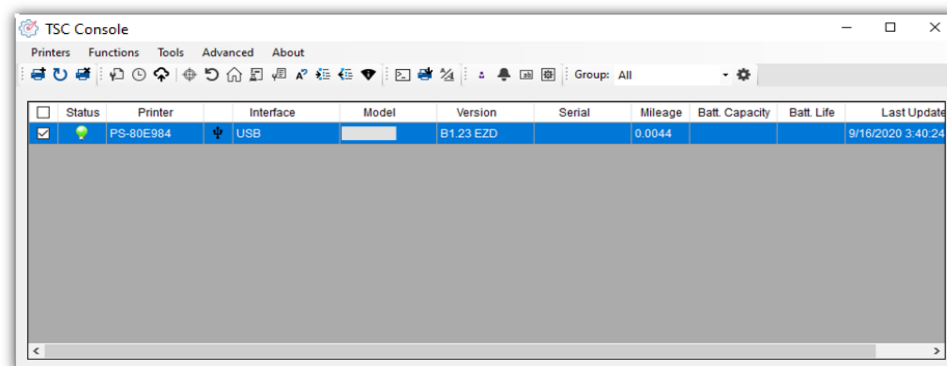


- 通知がポップアップ表示されたら、「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じます。イーサネットインターフェイスが、**TSC** コンソールに表示されます。

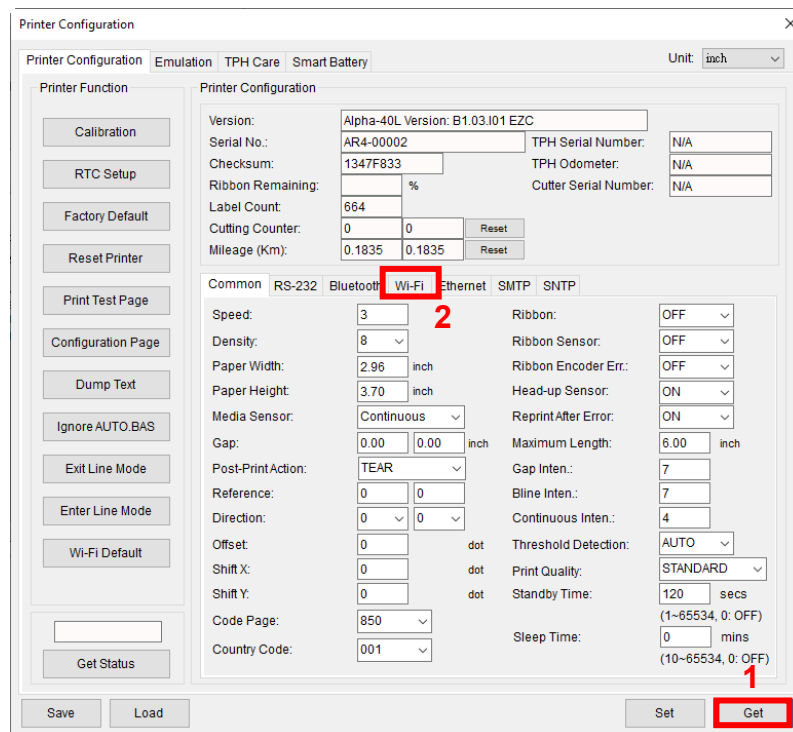


5.3 Wi-Fi の設定と TSC コンソールインターフェースへの追加

- **USB** または **COM** ポートを使用して、インターフェイスを設定します。
(5.1 章を参照)
- ダブルクリックして、プリンタ構成ページに入ります。



- 「取得」をクリックして、プリンタの情報を受信します。
- 「Wi-Fi」をクリックして、Wi-Fi 設定ページを表示します。



WPA-Personal の場合

- I. SSID を入力します。
- II. WPA-Personal の暗号化オプションを選択します。
- III. キーを入力します。
- IV. DHCP で「オン」に選択します。（「オフ」オプションの場合は、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力してください）
- V. 設定後、「設定」ボタンをクリックしてください。

注記:

設定する前は、わかりやすくなるように、入力済みの項目は黄色で表示されます。

DHCP の場合、プリンタ名は「プリンタ名」欄に別のモデル名を入力することで変更できます。

Raw ポートは「Raw ポート」欄で変更できます。

Common RS-232 Bluetooth Wi-Fi Ethernet SMTP SNTP

Built-in Wi-Fi Module

SSID: SSID_1 EAP Type: [v]

WLAN Encryption: WPA-Personal Username: []

Key: [] Password: []

DHCP: ON File Name Browse

IP Address: [] CA Certificate: []

Subnet Mask: 0.0.0.0 Client Certificate: []

Gateway: [] Private Key: []

Primary DNS IP: [] EAP-FAST PAC: []

Secondary DNS IP: []

Raw Port: 9100

Printer Name: PS-FF153C Wi-Fi Version: 3.7.1.0R6

MAC Address: 00:1B:82:FF:15:3C RSSI: 0

Set Get

WPA-Enterprise の場合

- I. SSID を入力します。
- II. WPA2-Enterprise の暗号化オプションを選択します。
- III. DHCP で「オン」に選択します（「オフ」オプションの場合は、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力してください）
- IV. EAP タイプオプションを選択します。（「EAP-TLS」オプションの場合は、2 つのエンドポイント間の相互認証、完全性保護暗号スイートネゴシエーション、キー交換のために CA とキーをアップロードしてください。）
- V. 設定後、「設定」ボタンをクリックしてください。

注記:

設定する前は、わかりやすくなるように、入力済みの項目は黄色で表示されます。

DHCP の場合、プリンタ名は「プリンタ名」欄に別のモデル名を入力することで変更できます。

Raw ポートは「Raw ポート」欄で変更できます。

Common RS-232 Bluetooth Wi-Fi Ethernet SMTP SNTP

Built-in Wi-Fi Module

SSID: SSID_2 EAP Type: [v]

WLAN Encryption: WPA-Enterprise Username: []

Key: [] Password: []

DHCP: ON File Name Browse

IP Address: [] CA Certificate: []

Subnet Mask: 0.0.0.0 Client Certificate: []

Gateway: [] Private Key: []

Primary DNS IP: [] EAP-FAST PAC: []

Secondary DNS IP: []

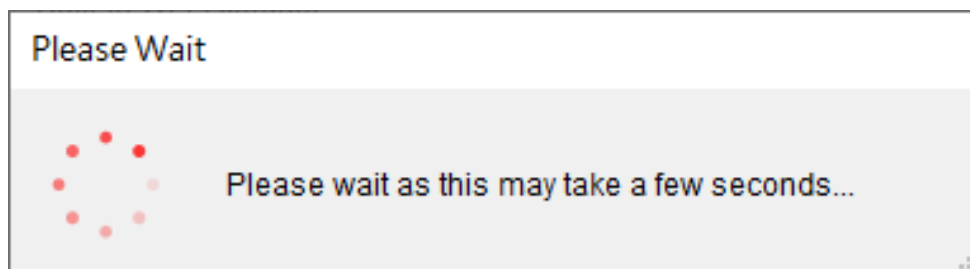
Raw Port: 9100

Printer Name: PS-FF153C Wi-Fi Version: 3.7.1.0R6

MAC Address: 00:1B:82:FF:15:3C RSSI: 0

Set Get

- 「設定」ボタンをクリックすると、以下のポップアップウィンドウが表示されます。

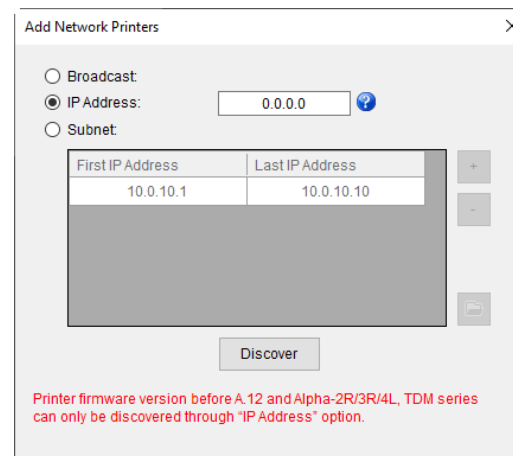


- 「IP アドレス」欄に IP アドレスが表示され、LCD コントロールパネルに Wi-Fi ログと IP アドレスが以下のように表示されます。

注記:

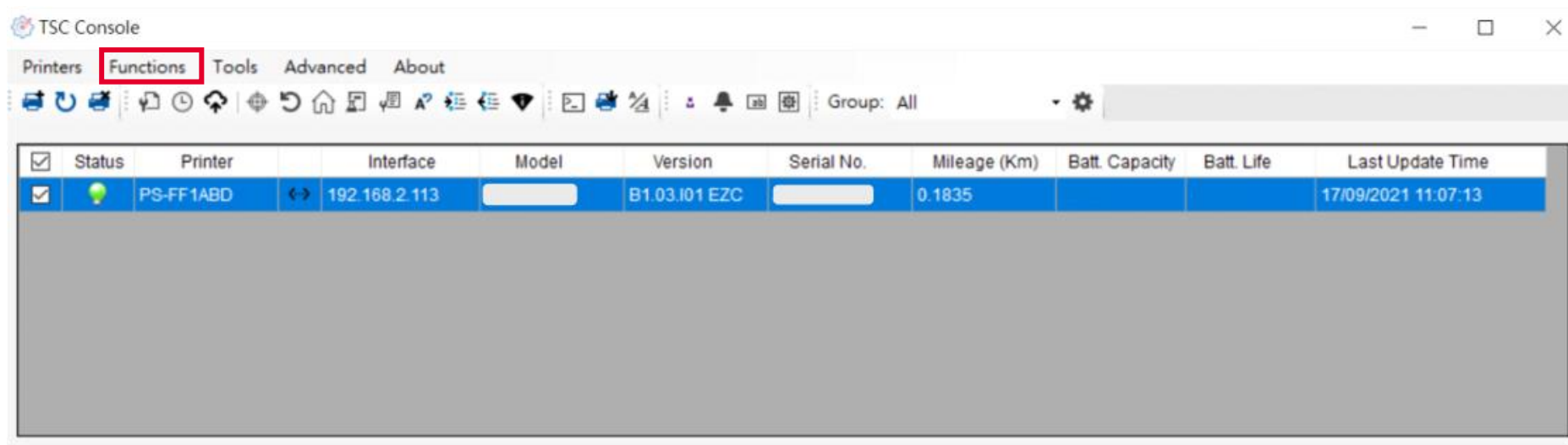
プリンタの電源を入れてから約 5～15 秒後に IP アドレスが表示されます。表示されない場合は、以下の手順を参照して、プリンタの Wi-Fi モジュール設定を初期化してから、再度設定してください。

- コンピュータとプリンタの間にあるケーブルを外します。
- メインページに移動し、「プリンタの追加」をクリックして、ネットワーク経由でプリンタを追加します。
- このプリンタを選択し、プリンタをダブルクリックして設定ページを表示します。
- 「テストページ印刷」ボタンをクリックして、Wi-Fi インターフェイス経由でテストページを印刷します。

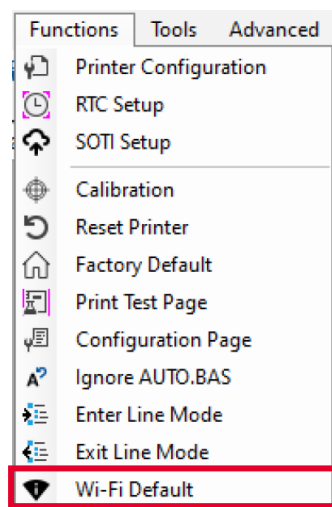


5.4 プリンタの Wi-Fi 設定の初期化

1. TSC コンソールのメインページに戻ります。



2. 「機能」をクリックしてページを展開します。
3. 「Wi-Fi デフォルト」をクリックして、プリンタの Wi-Fi モジュール設定を工場出荷時のデフォルト状態に初期化します。



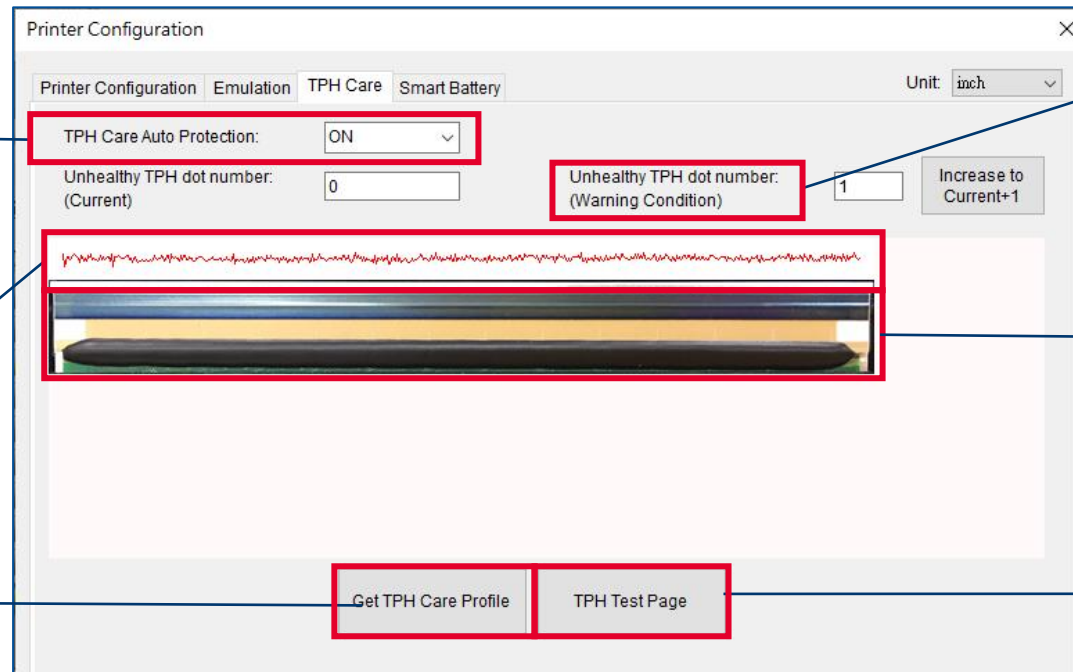
5.5 TPH 保守

TPH 保守を使用すると、印刷ヘッドの状態を確認できます。また、ドット障害しきい値を設定して、そのしきい値を超えたときにエラーを発生させることができます。

このオプションは、TPH 保守機能を有効 (ON) /無効 (OFF) にするために使用されます。

このオプションは、異常な TPH ドット要素の数を確認するために使用します。

このオプションは、異常な TPH ドットを検出するために使用します。



このオプションは、異常な TPH ドット数のしきい値を設定するために使用します。

この画像は、異常な TPH ドットの相対位置を確認するために使用します。

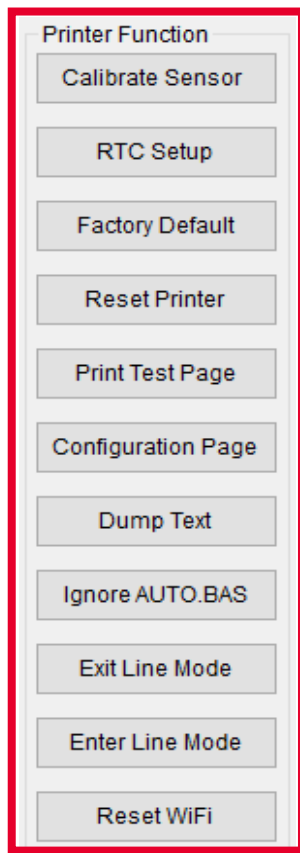
このオプションは、TPH テストイメージを印刷して TPH の印刷結果を確認するために使用します。

1. TPH 保守機能を有効にします。(注記: デフォルトは無効/OFF です。)次に、「Get TPH care profile (TPH 保守プロファイルを取得)」ボタンをクリックすると、上の領域に図が表示されます。
2. 分析結果がフラットな場合は、プリントヘッドが良好であることを示しています。「異常な TPH ドット数」を確認します。結果がゼロ(0)の場合、プリントヘッドが良好であることを示しています。
3. 不良ドットは、プロファイルにスパイクとして表示されます。下のプロファイルにある矢印は、損傷している可能性のあるドットがあることを示しており、プリンタは印刷を停止します。



5.6 プリンタ機能

プリンタ機能は、プリンタ構成にあります。「プリンタ機能」は、ウィンドウの左側に表示されます。



機能	説明
センサー校正	メディアタイプとラベルのサイズを検出します
RTC 設定	プリンタと PC のリアルタイムクロックを同期します
工場出荷時デフォルト	プリンタを工場出荷時デフォルト設定に初期化します
プリンタリセット	プリンタを再起動します
テストページ印刷	指定されたラベルサイズとセンサータイプに応じて、テストページを印刷します。
構成ページ	プリンタ構成を印刷します
テキストダンプ	プリンタをダンプモードで起動します
AUTO.BAS の無視	プリンタの起動時に AUTO.BAS ファイルを無視します。
ラインモード終了	ラインモードを終了し、ページモードに入ります
ラインモードに入ります	ページモードを終了し、ラインモードに入ります
Wi-Fi リセット	Wi-Fi 設定をデフォルト値に復元します。

5.7 印刷後動作の設定

プリンタにカッター、ピーラー、巻き戻し機などの他のオプションキットが装備されている場合は、校正終了後にモードを選択してください。

以下の手順に従って、印刷後動作を設定します：

5.1 章を参照してプリンタを **TSC コンソール** に接続します。プリンタを **ダブルクリック** します。プリンタ構成ページがポップアップ表示されます。「取得」をクリックして情報をロードします。「共通」タブに移動します。印刷後動作を検索します。用途に応じてモードを選択します。「設定」をクリックします。

Printer Configuration

Printer Configuration Emulation TPH Care Smart Battery Unit: mm

Printer Function

Calibration
RTC Setup
Factory Default
Reset Printer
Print Test Page
Configuration Page
Dump Text
Ignore AUTO.BAS
Exit Line Mode
Enter Line Mode
Wi-Fi Default
Get Status

Printer Configuration

Version: []
Serial No.: [] TPH Serial Number: N/A
Checksum: 1344B9B1 TPH Odometer: N/A
Ribbon Remaining: [] % Cutter Serial Number: N/A
Label Count: 553
Cutting Counter: 0 0 Reset
Mileage (Km): 0.0913 0.0913 Reset

Common RS-232 Bluetooth Wi-Fi Ethernet SMTP SNTP

Speed: 3 Ribbon: OFF
Density: 8 Ribbon Sensor: OFF
Paper Width: 104.00 mm Ribbon Encoder Err.: OFF
Paper Height: 74.05 mm Head-up Sensor: ON
Media Sensor: Black Mark Reprint After Error: ON
Gap: 1.99 0.00 mm Maximum Length: 152.25 mm
Post-Print Action: [] Gap Inten.: 7
Reference: OFF Bline Inten.: 7
Direction: TEAR Continuous Inten.: 4
Offset: PEEL Threshold Detection: AUTO
Shift X: CUTTER dot Print Quality: STANDARD
Shift Y: REWIND dot Standby Time: 120 secs
Code Page: 850 Sleep Time: 0 mins
Country Code: 001 (10-655 OFF)

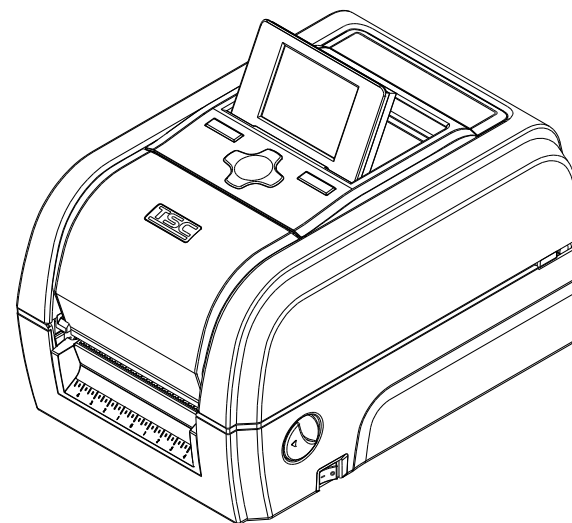
Save Load Set Get

6.LCD メニュー機能

6.1 メニューの表示

「メニュー」ボタンを押して、設定メニューに入ってください。「十字」ボタンを使って、メインメニューでアイテムを選択します。選択したアイテムが赤色に変わります。「フィード」ボタンを押して、設定リストに入ります。

注記:この LCD 機能は、TX210/TX310 シリーズ向けです。



6.2 メインメニュー概要

メニューには 6 つのカテゴリがあります。コンピュータを接続せずに、簡単にプリンタの設定を行うことができます。詳細については、以下のセクションを参照してください。



設定: TSPL および ZPL2 用のプリンタ設定を行います。



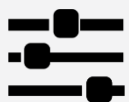
詳細: LCD、初期化、カッタータイプなどを設定します。



センサー: 選択したメディアセンサーを校正します。



ファイルマネージャー: プリンタのメモリストレージを確認および管理します。



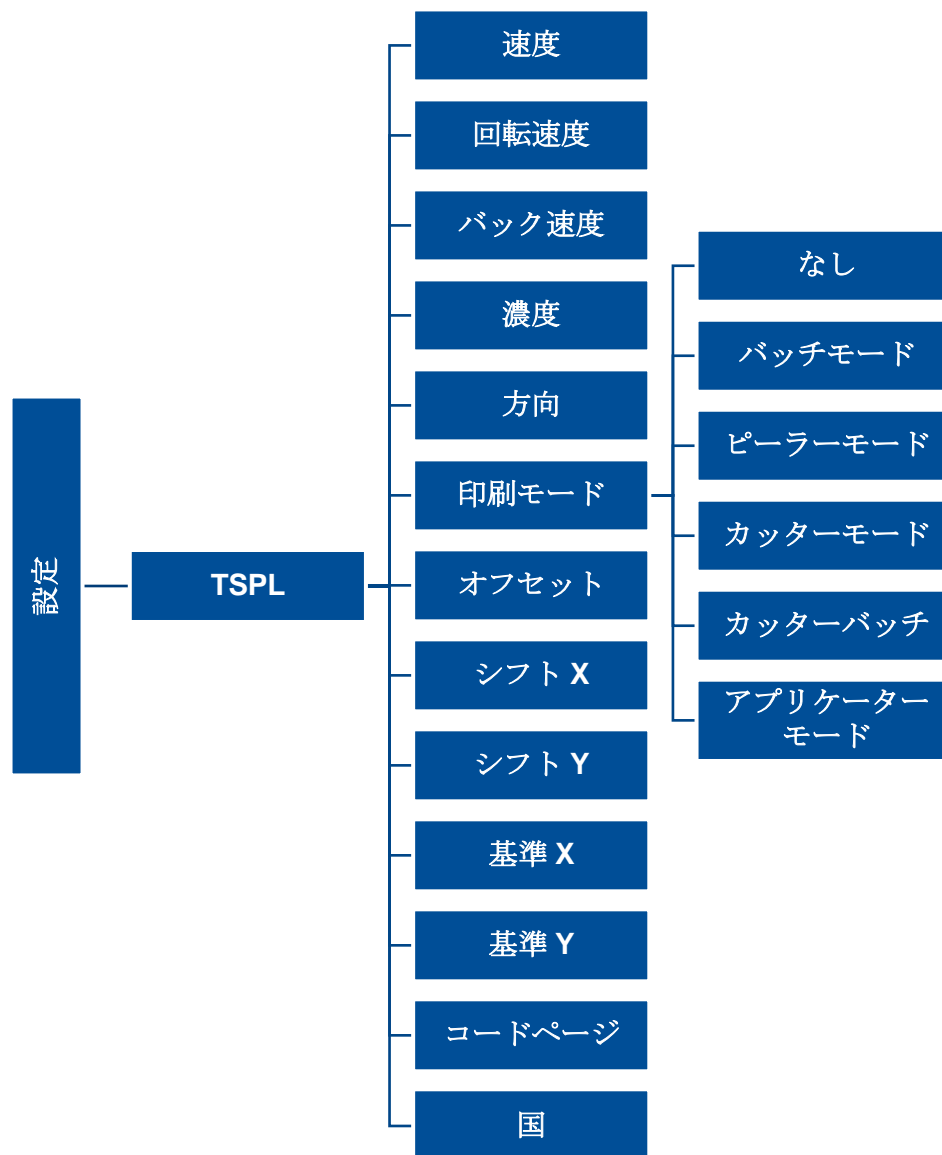
インターフェイス: プリンタのインターフェイス設定を行います。



診断: プリンタを確認し、問題とトラブルシューティングを行います。

6.3 TSPL

「TSPL」カテゴリでは、TSPL 用のプリンタ設定を行うことができます。

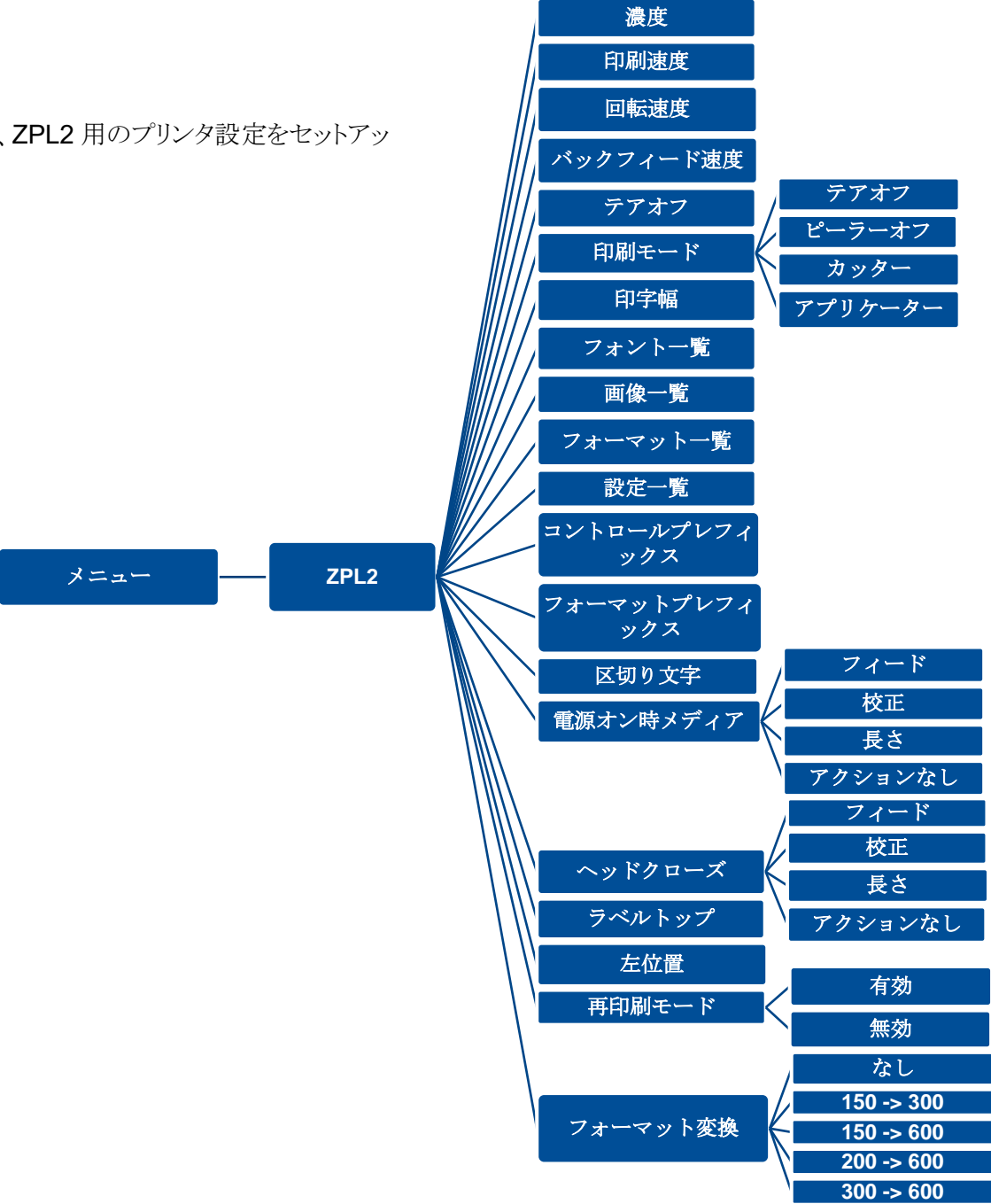


アイテム	説明	デフォルト
速度	印刷速度を設定します。	なし
回転速度	この項目を使用してフィード速度をセットします。203DPI: 1 ~ 8、300DPI: 1 ~ 6、600DPI: 1 ~ 4	なし
バック速度	この項目を使用してバックフィード速度を設定します。設定値は 1 ~ 3 です	2
濃度	印刷濃度を設定します。	8
方向	印刷方向を設定します。設置値: 0 および 1。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> 方向 0: <input type="text" value="Direction"/> </div> <div style="text-align: center;"> 方向 1: <input type="text" value="Direction"/> </div> </div>	0
印刷モード	印刷モードを設定します。以下の 5 つのモードがあります。 なし: 次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼付けラインの位置に並べられます。(テアオフモード) バッチモード: 印刷プロセスを完了すると、ラベルがテアプレート位置にフィードされます。 ピーラーモード: ラベルピールオフモードを有効化します。 カッターモード: ラベルカッターモードを有効化します。 カッターバッチ: 印刷ジョブの終わりにラベルを一度だけ切ります。 アプリケーター: プリンタは、アプリケーターから信号を受信したときにラベルを印刷します。	バッチモード
オフセット	メディアの停止位置を調整します。利用可能な値の設定範囲: -999 ドット ~ 999 ドット。	0 ドット
シフト X		0 ドット
シフト Y	印刷位置を調整します。利用可能な値の設定範囲: -999 ドット ~ 999 ドット。	0 ドット
基準 X		0 ドット
基準 Y	プリンタ座標系の原点を水平方向および垂直方向に設定します。利用可能な設定範囲: 0 ドット ~ 999 ドット。	0 ドット
コードページ	国際文字セットのコードページを設定します。	850
国	国コードを設定します。利用可能な値の設定範囲: 1 ~ 358。	001


注記: 付属のソフトウェア/ドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェア/ドライバが送出するコマンドが、フロントパネルによる設定を上書きします。

6.4 ZPL2

この「ZPL2」カテゴリでは、ZPL2 用のプリンタ設定をセットアップすることができます。



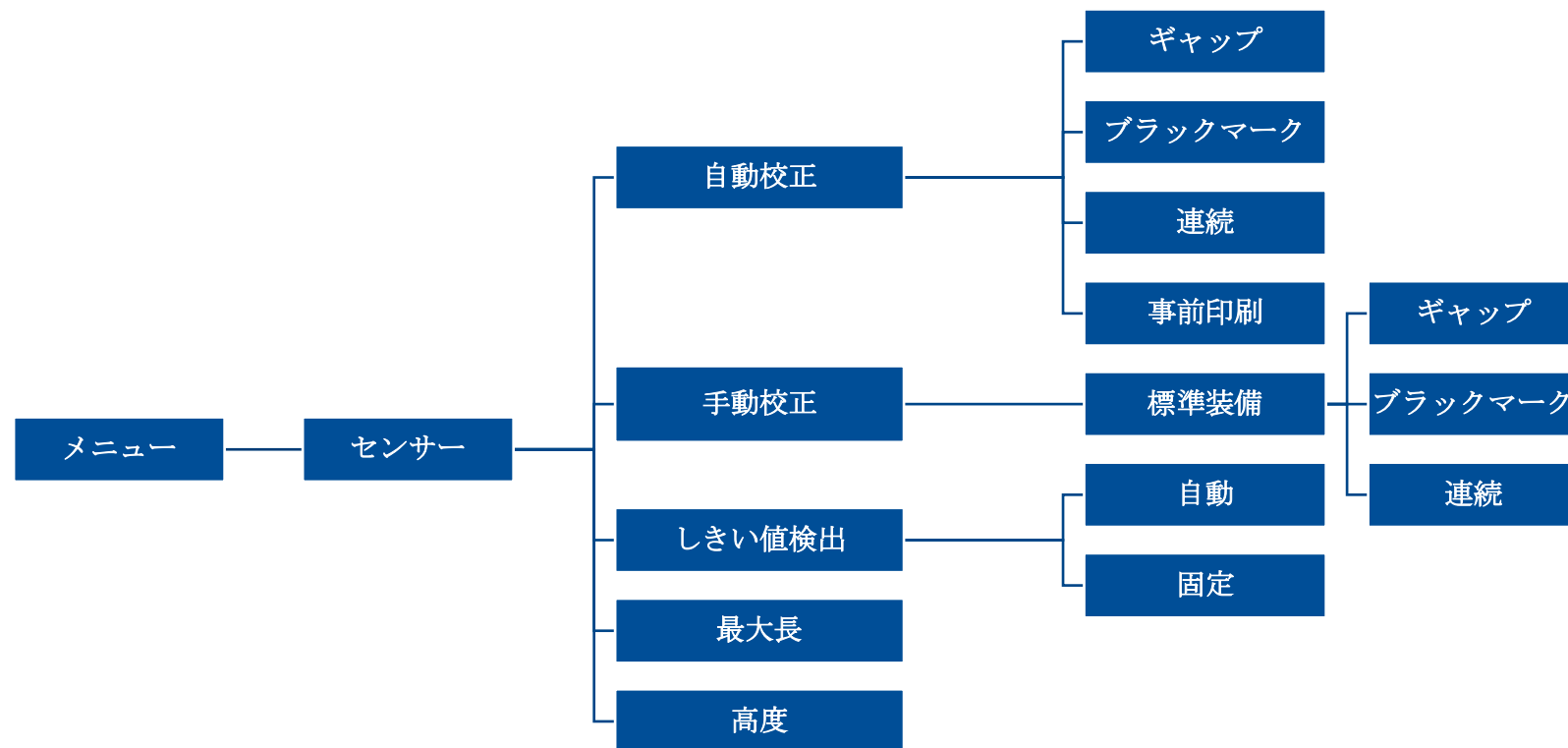
アイテム	説明	デフォルト
濃度	印刷濃度を設定します。利用可能な設定範囲: 0 ~ 30。	16
印刷速度	印刷速度を設定します。	6 (203 dpi) 4 (300 dpi) 3 (600 dpi)
回転速度	この項目を使用してフィード速度をセットします。203DPI: 1 ~ 8、300DPI: 1 ~ 6、600DPI: 1 ~ 4	2
バックフィード速度	この項目を使用してバックフィード速度を設定します。設定値は最大 6 ips です。	2 ips
テアオフ	メディアの停止位置を調整します。利用可能な値の設定範囲: -120 ~ 120 ドット。	0 ドット
印刷モード	印刷モードを設定します。4 つのモードがあります: テアオフ: 次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド加熱ラインの位置に並べられます。 ピーラーオフ: ラベルピールオフモードを有効化します。 カッター: ラベルカッターモードを有効化します。 アプリケーションター: プリンタは、アプリケーションターから信号を受信したときにラベルを印刷します。	テアオフ
印字幅	印刷幅を設定します。利用可能な設定範囲: 2 ~ 999 ドット。	812
フォント一覧	現在のフォント一覧をメモリデバイスからラベルに印刷します。	なし
画像一覧	メモリデバイスに保存されている現在のプリンタで利用可能な画像一覧をラベルに印刷します。	なし
フォーマット一覧	現在のプリンタで利用可能なフォーマット一覧をメモリデバイスからラベルに印刷します。	なし
設定一覧	現在のプリンタ構成をラベルに印刷します。	なし

コントロールプレフィックス	コントロールプレフィックス文字を設定します。	なし
フォーマットプレフィックス	フォーマットプレフィックス文字を設定します。	なし
区切り文字	区切り文字を設定します。	なし
電源オン時メディア	<p>プリンタの電源をオンにした際のメディアのアクションを設定します。</p> <p>フィード: プリンタがラベルを 1 つ進めます。</p> <p>校正: プリンタを校正します。</p> <p>長さ: プリンタは長さを決定してラベルをフィードします。</p> <p>アクションなし: プリンタによりメディアが動くことはありません。</p> <p>印刷ヘッドを閉じる際のメディアのアクションを設定します。</p> <p>フィード: プリンタがラベルを 1 つ進めます。</p>	アクションなし
ヘッドクローズ	<p>校正: プリンタを校正します。</p> <p>長さ: プリンタは長さを決定してラベルをフィードします。</p> <p>アクションなし: プリンタによりメディアが動くことはありません。</p>	アクションなし
ラベルトップ	垂直方向のラベル上の印刷位置を調整します。値の範囲: -120 ~ +120 ドット。	0
左位置	水平方向のラベル上の印刷位置を調整します。値の範囲: -9999 ~ +9999 ドット。	0
再印刷モード	プリンタのコントロールパネルの  ボタンを押して、最後のラベルを再印刷します。	無効
フォーマット変換	ビットマップ倍率を選択します。最初の数字は、元の 1 インチあたりのドット数 (dpi) であり、2 番目の数字はスケールリングする dpi です。	なし

注記: 他のソフトウェアドライバから印刷すると、パネルの設定は上書きされます。

6.5 センサー

このオプションを使用して選択したセンサーを校正します。メディアを変更した際は、印刷の前にセンサーを校正することが推奨されます。



アイテム	説明	デフォルト
自動校正	メディアセンサーの種類をセットし、選択したセンサーを自動的に校正します。	なし
手動校正	自動校正が機能しない場合は、「手動」機能を使用して用紙の長さとしきい値検出/B ライン長さを設定し、校正設定を完了してください。	なし
しきい値検出	センサー感度を固定または自動に設定します。	自動
最大長	ラベル校正の最大長を設定します。	254 mm
高度	自動校正を行う場合、最小用紙長と最大ギャップ/B ライン長を設定します。	なし

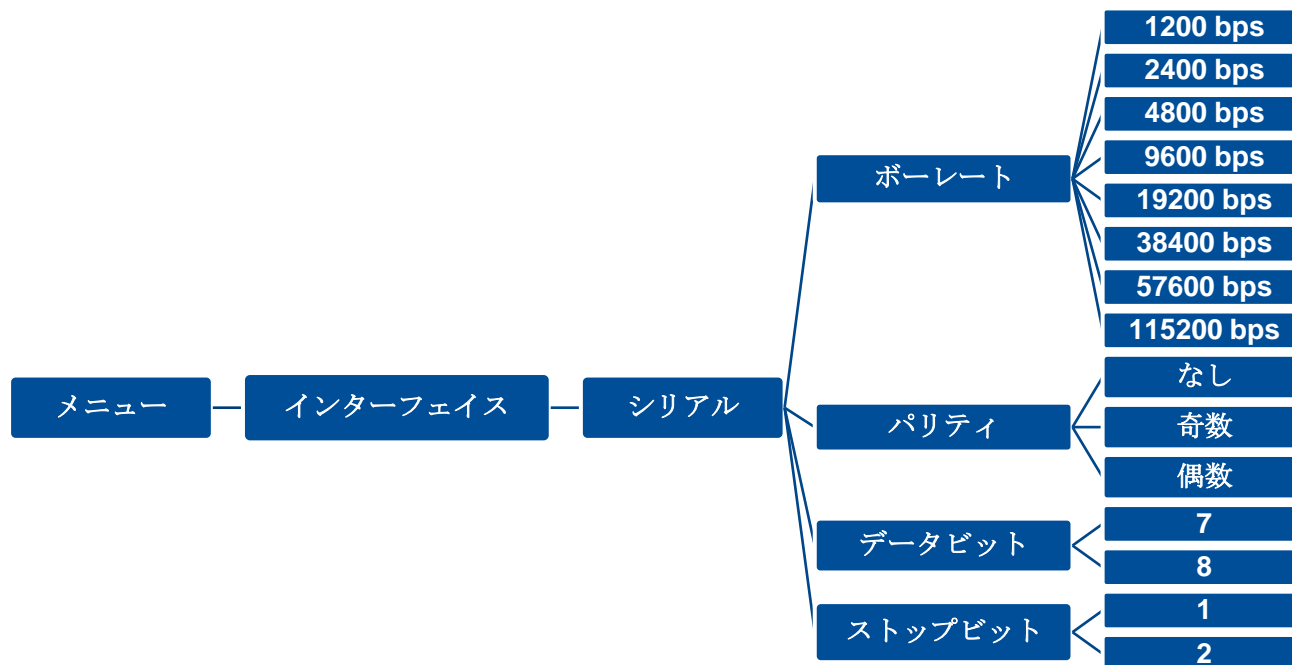
6.6 インターフェイス

インターフェイスにより、プリンタのインターフェイス設定を行います。



6.6.1 シリアル通信

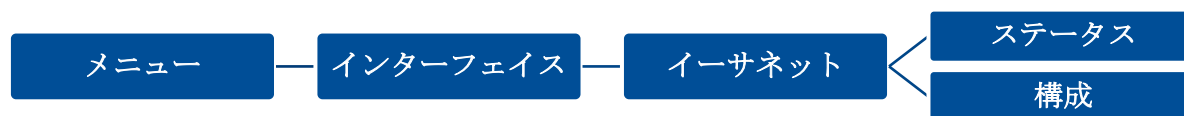
シリアル通信により、プリンタの RS-232 設定を行います。



アイテム	説明	デフォルト
ボーレート	RS-232 のボーレートを設定します。	9600
パリティ	RS-232 のパリティを設定します。	なし
データビット	RS-232 のデータビットを設定します。	8
ストップビット	RS-232 のストップビットを設定します。	1

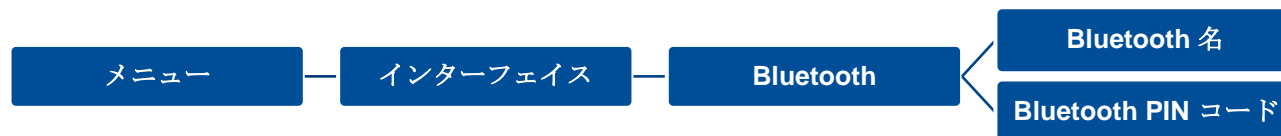
6.6.2 イーサネット

イーサネットにより、内部イーサネット構成を行い、プリンタのイーサネットモジュールのステータスを確認し、イーサネットモジュールをリセットします。



アイテム	説明	デフォルト
ステータス	イーサネットの IP アドレスと MAC アドレスの設定状況を確認します。	なし
構成	DHCP: DHCP (動的ホスト構成プロトコル) ネットワークプロトコルをオンまたはオフに切り替えます。 スタティック IP: このメニューを使用してプリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。	DHCP

6.6.3 Bluetooth



アイテム

説明

デフォルト

Bluetooth 名

このアイテムは、Bluetooth のローカル名を設定するために使用されます。

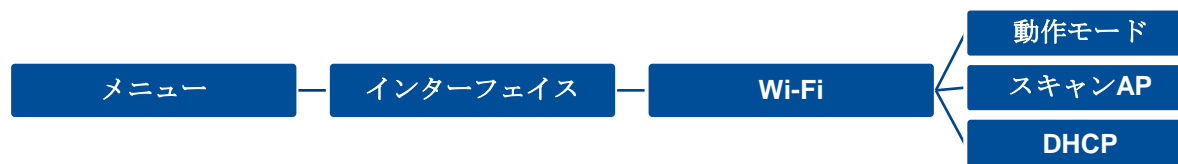
BT-SPP

Bluetooth PIN コード

このアイテムは、Bluetooth のローカル PIN コードを設定するために使用されます。

0000

6.6.4 Wi-Fi



アイテム

説明

デフォルト

動作

この項目は、デバイスをネットワークに接続するためのワイヤスローカルエリアネットワークの動作モードを設定するために使用されます。

注記:

インフラストラクチャモードでは、この通信を行うためにアクセスポイントを使用する必要があります。
アドホックモードでは、他のコンピュータにコンピュータを直接接続します。

インフラストラ
クチャ

スキャン AP

このアイテムは、アクセスポイント装置をスキャンするために使用されます

なし

DHCP

DHCP: DHCP (動的ホスト構成プロトコル) ネットワークプロトコルをオンまたはオフに切り替えます。
スタティック IP: このメニューを使用してプリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

オン

6.7 ファイルマネージャ

ファイルマネージャは、プリンタの利用可能なメモリ量の確認や、ファイルリストの表示、プリンタの DRAM/フラッシュ/カードメモリ内に保存されたファイルの削除や実行をする時に使用します。



アイテム

説明

DRAM

このメニューを使用して、プリンタの DRAM メモリに保存されたファイル (.BAS) を表示、削除および実行することができます。

FLASH

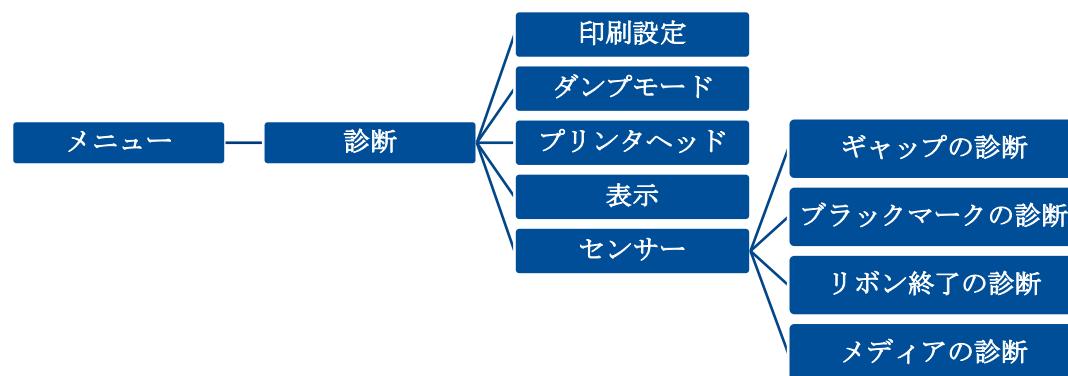
このメニューを使用して、プリンタの Flash メモリに保存されたファイル (.BAS) を表示、削除および実行することができます。

カード

このメニューを使用して、プリンタの SD カードに保存されたファイル (.BAS) を表示、削除および実行することができます。

注記:このサブセクションは、SD カードがインストールされている場合にのみ表示されます。

6.8 診断



```

DOWNLO 0D 0A 44 4F 57 4E 4C 4F 4I
D „TEST2. 44 20 22 54 45 53 54 32 2E
DAT“,5,CL 44 41 54 22 2C 35 2C 43 4C
S DOWNLO 53 0D 0A 44 4F 57 4E 4C 4F
AD F,“TES 41 44 20 46 2C 22 54 45 53
T4.DAT“,5 54 34 2E 44 41 54 22 2C 35
,CLS DOW 2C 43 4C 53 0D 0A 44 4F 57
NLOAD „TE 4E 4C 4F 41 44 20 22 54 45
ST2.DAT“, 53 54 32 2E 44 41 54 22 2C
5,CLS DO 35 2C 43 4C 53 0D 0A 44 4F
WNLOAD F, 57 4E 4C 4F 41 44 20 46 2C
„TEST4.DA 22 54 45 53 54 34 2E 44 41
T“,5,CLS 54 22 2C 35 2C 43 4C 53 0D
DOWNLOAD 0A 44 4F 57 4E 4C 4F 41 44
“TEST2.D 20 22 54 45 53 54 32 2E 44
AT“,5,CLS 41 54 22 2C 35 2C 43 4C 53
DOWNLOA 0D 0A 44 4F 57 4E 4C 4F 4I
D F,“TEST 44 20 46 2C 22 54 45 53 54
4.DAT“,5, 34 2E 44 41 54 22 2C 35 2C
CLS 43 4C 53 0D 0A
  
```

アイテム

説明

印刷設定

現在のプリンタ構成をラベルに印刷します。構成印刷にはプリントヘッドヒーターのドット損傷をチェックするのに役立つ印刷ヘッドテストパターンが含まれています。

ダンプモード

通信ポートからデータを取り入れ、プリンタが受信したデータを印刷します。ダンプモードでは、すべての文字が 2 列に印刷されます。左側の文字はお客様のシステムから受け取られたもので、右側のデータは文字に対応する 16 進値です。これにより、ユーザーやエンジニアはプログラムを検証しデバッグできるようになります。

ダンプモードには幅 4 インチの用紙幅が必要です。

プリンタヘッド

プリンタヘッドの温度および不良ドットを確認します。

表示

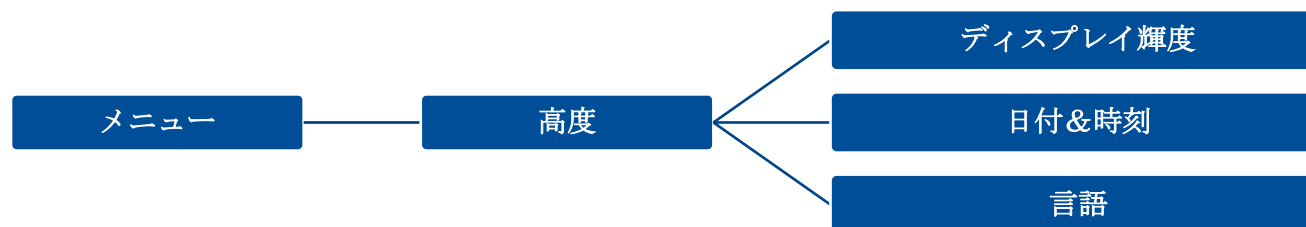
LCD の色の状態を確認します。

センサー

センサーの強度と読み取り状態を確認します。

6.9 詳細

この機能を使用して、プリンタの LCD 設定を行います。



アイテム

説明

ディスプレイ輝度

この項目は、ディスプレイの輝度の設定に使用します。

日付&時刻

この項目は、ディスプレイの時刻と日付を設定する時に使用します。

言語

この項目は、ディスプレイの言語設定に使用します。

6.10 サービス

この機能を使用してプリンタ設定を初期設定に戻し、プリンタマの情報を確認します。



アイテム

説明

初期化

この機能は、プリンタ設定を初期設定に復元するために使用されます。

プリンタ情報

この機能は、プリンタシリアル番号、印刷されたマイレージ (m)、ラベル (個) および切断回数を確認するために使用されます。

連絡先

この機能は、技術サポートサービスの連絡先情報を確認するために使用されます。

7.トラブルシューティング

問題	考えられる原因	回復手順
 電源インジケータが点灯しない	<ul style="list-style-type: none">*電源コードが正しく接続されていない場合があります。	<ul style="list-style-type: none">* 電源コードをプリンタとコンセントに繋いでください。* プリンタの電源を入れます。
 LED が点灯します (キャリッジが開いています)	<ul style="list-style-type: none">* プリンタヘッドが開いています。	<ul style="list-style-type: none">* プリンタキャリッジを閉じてください。
 LED が点灯します (リボンがありません)	<ul style="list-style-type: none">* リボン切れです。* リボンが正しく取り付けられていません。	<ul style="list-style-type: none">* 新しいリボンロールを補充します。* リボンロールを再補充するには、セクション 3.2 の手順を参照してください。
 LED が点滅します	<ul style="list-style-type: none">* リボンが終わりに近づいています	<ul style="list-style-type: none">* 新しいリボンロールを補充します。
 LED が点灯します (ペーパーがありません)	<ul style="list-style-type: none">* ラベル切れです。* ラベルが正しく取り付けられていません。* ギャップ/ブラックマークセンサーが校正されていません。	<ul style="list-style-type: none">* 新しいラベルロールを補充します。* ラベルロールを再補充するには、セクション 3.3 の手順を参照してください。* ギャップ/ブラックマークセンサーを校正してください。
 LED が点滅します (紙詰まりです)	<ul style="list-style-type: none">* ギャップ/ブラックマークセンサーが正しく設定されていません。* ラベルサイズが正しく設定されているか確認してください。* ラベルがプリンタ機構内に詰まっている可能性があります。	<ul style="list-style-type: none">* メディアセンサーを校正してください。* メディアサイズを正しく設定してください。* プリンタ機構内に詰まったラベルを取り除いてください。



LED が点灯します (その他のエラー)

印刷できない

- * メモリが不足しています
- * 印刷ヘッドが過熱しています
- * カッターエラー/カッタージャム
- * インターフェイスケーブルがインターフェイスコネクタにしっかり接続されているか確認してください。
- * ワイヤレスまたは **Bluetooth** デバイスがうまくホストとプリンタの間に接続されているか確認してください。
- * **Windows** ドライバで指定されたポートが正しくありません。
- * **FLASH/DRAM** 内の未使用ファイルを削除してください。
- * 印刷ヘッドが冷却されるまで待機します。
- * カッターモジュール内に詰まったラベルを取り除いてください。
- * ケーブルをインターフェイスに再接続するか、新しいケーブルに交換してください。
- * シリアルケーブルを使用している場合は、
 - ケーブルをピンツーピン接続と交換してください。
 - ボーレートの設定を確認してください。プリンタのデフォルトのボーレート設定は **9600、n、8、1** です。
- * イーサネットケーブルを使用している場合は、
 - イーサネット **RJ-45** コネクタの緑の **LED** が点灯しているかを確認します。
 - イーサネット **RJ-45** コネクタのオレンジ色の **LED** が点滅しているかを確認します。
 - **DHCP** モードを使用している際にプリンタが **IP** アドレスを取得しているかどうかを確認します。
 - スタティック **IP** アドレスを使用している際に **IP** アドレスが正しく取得されているかを確認します。
 - プリンタがサーバと通信する間数秒間待ち、その後 **IP** アドレス設定を再度確認してください。
- * ワイヤレスデバイスの設定をリセットしてください。
- * ドライバの正しいプリンタポートを選択してください。
- * 印刷ヘッドのハーネスコネクタが印刷ヘッドと正確に接続されていません。プリンタの電源を切り、コネクタを接続し直します。
- * プログラム上で、印刷のコマンドがファイルの終わりにあるか、また各コマンドラインの終わりに **CRLF** があることを確認します。

ラベルに印刷されない	<ul style="list-style-type: none"> * ラベルまたはリボンが正しくセットされていません。 * 違ったタイプの紙またはリボンが使用されています。 	<ul style="list-style-type: none"> * メディアおよびリボン取り付けの指示に従ってください。 * リボンとメディアが互換していません。 * リボンのインク塗装面を確認します。 * 印刷濃度設定が不適切です。 * プリンタヘッドの汚れを取ります。
印刷の質が悪い	<ul style="list-style-type: none"> * リボンとメディアの取り付けが不適切です。 * プリンタヘッドに汚れや粘着物が付着しています。 * 印刷濃度が正しく設定されていません。 * プリンタヘッドエレメントが破損しています。 * リボンとメディアが互換していません。 * プリンタヘッド圧力が正しく設定されていません。 	<ul style="list-style-type: none"> * 電源装置をリロードします。 * プリンタヘッドの汚れを取ります。 * プラテンローラーの汚れを取ります。 * 印刷濃度と印刷速度を調整します。 * プリンタのセルフテストを実行し、パターンにドットの欠落がないかプリンタヘッドのテストパターンを点検します。 * 適切なリボンおよびラベルメディアに交換します。 * リリースレバーがプリンタヘッドに正しく嵌まっていません。
ラベルを取る	<ul style="list-style-type: none"> * ピール機能が有効です。 	<ul style="list-style-type: none"> * ピーラーモジュールが取り付けられている場合は、ラベルを取り除いてください。 * ピーラーモジュールがプリンタ正面に取り付けられていない場合は、プリンタの電源を切り、取り付けてください。 * コネクタが正しく接続されているか確認してください。
カッターが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> * コネクタが緩んでいます。 * カッタージャムです。 * カッターPCB が破損しています。 	<ul style="list-style-type: none"> * 接続ケーブルを正しく接続してください。 * ラベルを取り除きます。 * ラベル厚が 0.19 mm 以下か確認してください。 * カッタードライバ IC ボードを交換します。
メモリ(FLASH/DRAM/カード)にファイルをダウンロードすることができません	<ul style="list-style-type: none"> * メモリの容量一杯です。 	<ul style="list-style-type: none"> * メモリ内の未使用ファイルを削除してください。
SD カードが使用できない	<ul style="list-style-type: none"> * SD カードが破損しています。 * SD カードが正しく挿入されていません。 * 認定 SD カード製造元のカードではありません。 	<ul style="list-style-type: none"> * サポートされている容量の SD カードを使用します。 * SD カードを挿入し直します。 * サポートされている SD カード仕様および認定 SD カード製造元については、セクション 2.2.3 を参照してください。
ラベルの左側あるいは右側に、印刷されていない部分がある	<ul style="list-style-type: none"> * ラベルサイズの設定が正しくありません。 	<ul style="list-style-type: none"> * 正しいラベルサイズを設定します。
空白ラベルにグレーのラインが印刷される	<ul style="list-style-type: none"> * プリンタヘッドが汚れています。 * プラテンローラーが汚れています。 	<ul style="list-style-type: none"> * プリンタヘッドの汚れを取ります。 * プラテンローラーの汚れを取ります。

印刷が不規則である

- * プリンタが 16 進ダンプモードになっています。
- * RS-232 設定が不適切です。

- * ダンプモードをスキップするには、プリンタをオフにし、再度オンにします。
- * RS-232 設定をリセット。

印刷の際に、ラベルフィードが安定していない(曲がる)

- * メディアガイドがメディアの端に接していません。

- * ラベルが右側に動く場合は、ラベルガイドを左に移動してください。
- * ラベルが左側に動く場合は、ラベルガイドを右に移動してください。

印刷中にラベルがスキップされる

- * ラベルサイズが正しく指定されていません。
- * センサー感度が正しく設定されていません。
- * メディアセンサーに埃が溜まっています。

- * ラベルサイズが正しく設定されているか確認してください。
- * 自動ギャップあるいは手動ギャップオプションによりセンサーを校正してください。
- * ギャップ/ブラックマークセンサーをブローで清掃してください。

皺がよる

- * プリンタヘッド圧力が正しくありません。
- * リボンの取り付けが正しくありません。
- * メディアの取り付けが正しくありません。
- * 印刷濃度設定が不適切です。
- * メディアのフィードが正しくありません。

- * 適切な濃度を設定して印刷画質を向上させてください。
- * ラベルガイドがメディアガイドの端に接するようにしてください。

印刷を再起動する際の RTC タイムが正しくない

- * バッテリーが残り僅かになっています。

- * メインボードにバッテリー残量があるか確認します。

小さいラベルの印刷位置が適切ではない

- * メディアセンサー感度が正しく設定されていません。
- * ラベルサイズが正しくありません。
- * パラメータシフト Y が正しくありません。
- * ドライバの垂直オフセット設定が正しくありません。

- * センサー感度を再度校正します。
- * 正しいラベルサイズとギャップサイズを設定します。
- * TSC コンソールを使って、シフト Y のパラメータを微調整します。
- * BarTender ソフトウェアを使用している場合、ドライバの垂直オフセットを設定してください。

8.メンテナンス

プリンタを保守する際に使用する清掃用具や方法について説明します。

■ 清掃

使用するメディアによっては、通常の印刷の副産物としてプリンタに残留物（メディアダスト、接着剤など）が蓄積する場合があります。最高の印刷品質を維持するためには、定期的にプリンタを清掃してこれらの残留物を取り除く必要があります。新しいメディアに交換したら、プリンタの最適な性能を維持しプリンタの寿命を延ばすために、プリンタヘッドと電源センサーを定期的に清掃してください。

■ 消毒

自分や他の人を保護し、ウイルスの拡散を防ぐため、プリンタを消毒してください。

■ 重要

- 清掃作業や消毒作業を実行する前に、プリンタの電源スイッチを **O** (オフ) に切り替えてください。プリンタを接地したままにし、静電気による損傷のリスクを減らすために、電源コードは接続したままにしておきます。
- プリンタの内部を清掃するときは、指輪やその他の金属物を着用しないでください。
- 本書で推奨されている洗浄剤のみを使用してください。他の洗浄剤を使用すると、プリンタが損傷し、保証が無効になる場合があります。
- 液体洗浄剤を直接プリンタに吹き付けたり滴下したりしないでください。糸くずの出ない清潔な布に洗浄剤を塗布してから、プリンタに塗布してください。
- センサーやその他の重要なコンポーネントにほこりやごみを吹き付ける可能性があるため、プリンタの内部に圧縮空気を使用しないでください。
- 静電気の蓄積を排出するために、導電性で接地されたノズルとホースを備えた掃除機のみを使用してください。
- これらの手順でイソプロピルアルコールを使用する場合は、プリントヘッドへの湿気腐食のリスクを減らすために、**99%**以上の含有量のイソプロピルアルコールが必要となります。
- プrintヘッドに手を触れないでください。誤ってヘッドに触れてしまった場合は、**99%** イソプロピルアルコールで洗浄します。
- 洗浄剤を使用するときは、常に自身の健康にも注意を払ってください。

清掃用具

- 綿棒
- 柔らかい布
- 柔らかい非金属の毛が付いたブラシ
- 吸引掃除機
- 75%エタノール(消毒用)
- 99%イソプロピルアルコール(プリントヘッドおよびプラテンローラーの清掃用)
- 純正のプリントヘッド清掃ペン
- 中性洗剤(塩素なし)

清掃プロセス:

プリンタ部品	方法	間隔
プリンタヘッド	<ol style="list-style-type: none">I. 印刷ヘッドを清浄する前に、必ずプリンタの電源を切ってください。II. 少なくとも1分間、印刷ヘッドが冷却されるまで待機します。III. 綿棒と 99% イソプロピルアルコールまたは純正のプリントヘッド清掃ペンを使用して、プリントヘッドの表面を清掃します。	新しいラベルロールを使う時はプリンタヘッドを拭いてください。
プラテンローラー	<ol style="list-style-type: none">I. プリンタの電源を切ります。II. プラテンローラーを回転させ、糸くずの出ない布に 99% イソプロピルアルコールを染み込ませて、念入りに拭きます。	新しいラベルロールを使う時はプラテンローラーを拭いてください。
ピールバー	糸くずの出ない布と 99%イソプロピルアルコールを使って拭き取ります。	必要に応じて
センサー	柔らかい非金属の毛が付いたブラシ、または掃除機を使用して、紙のほこりを取り除いてください。上部と下部のメディアセンサーは、信頼性の高いフォームの上部検知と用紙切れ検知を保証するため、清掃する必要があります。	毎月
外面	糸くずの出ない清潔な布(水で湿らせた布)で外面を拭いてください。必要に応じて、中性洗剤またはデスクトップ洗浄液を使用してから、75%エタノールを使って拭き取ります。	必要に応じて
内面	上記の吸引掃除機または柔らかい非金属の毛のブラシを使って汚れや糸くずを取り除いて、プリンタの内部を掃除してから、75%エタノールを使って拭き取ります。	必要に応じて

9. 事業コンプライアンスおよび認可



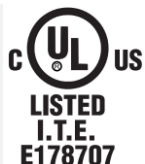
EN 55022、クラス B
EN 55024
EN 60950-1



FCC パート 15B、クラス B



AS/NZS CISPR 22、クラス B



UL 60950-1



EN 60950-1



GB 4943.1
GB 9254
GB 17625.1

Wichtige Sicherheits-Hinweise

1. Bitte lesen Sie diese Hinweis sorgfältig durch.
2. Heben Sie diese Anleitung für den späteren Gebrauch auf.
3. Vor jedem Reinigen ist das Gerät vom Stromnetz zu trennen. Verwenden Sie keine Flüssig-oder Aerosolreiniger. Am besten eignet sich ein angefeuchtetes Tuch zur Reinigung.

4. Die Netzanschluß-Steckdose soll nahe dem Gerät angebracht und leicht zugänglich sein.
5. Das Gerät ist vor Feuchtigkeit zu schützen.
6. Bei der Aufstellung des Gerätes ist auf sicheren Stand zu achten. Ein Kippen oder Fallen könnte Beschädigungen hervorrufen.
7. Beachten Sie beim Anschluß ans Stromnetz die Anschlußwerte.
8. Dieses Gerät kann bis zu einer Außentemperatur von maximal 40°C betrieben werden.

バッテリーの安全性に関する警告:

火の中に投下しないでください。

接点を短絡させないでください。

バッテリーを分解しないでください。

バッテリーを一般廃棄物に捨てないでください。

バッズの車輪付きゴミ箱のシンボルは、バッテリーを一般廃棄物に入れてはならないことを示しています。

注意

誤ったタイプのバッテリーに交換すると爆発の危険があります。

指示に従って使用済みバッテリーを処分してください。

“VORSICHT”

Explosionsgefahr bei unsachgemäßen Austausch der Batterie. Ersatz nur durch denselben oder einem vom Hersteller empfohlenem ähnlichen Typ. Entsorgung gebrauchter Batterien nach Angaben des Herstellers.

FCC 声明:

本装置は FCC 規定第 15 章によるクラス B デジタル装置の規制に準拠していることが試験により確認されています。これらの規制は、住宅に設置した状態で、有害な電波障害から適切に保護することを目的としています。本装置は、高周波エネルギーを発生、使用し、放射しうるため、指示通りに設置し使用しない場合は、無線通信に有害な電波障害を引き起こすことがあります。ただし、特定の設置条件で電波障害が発生しないと保証するものではありません。本装置がラジオやテレビに有害な電波障害を引き起こしている場合、これは本装置の電源をオン/オフにすることで検証できますが、次の方法を一つ以上試みて、電波障害を解消することをお勧めします。

- 受信アンテナの方向を変える。

- 本装置と受信機を離す。
- 本装置を受信機とは別のコンセントに接続する。
- 販売店または熟練のラジオ/TV 技術者に問い合わせる。

本装置は FCC 規定第 15 章に準拠しています。操作は次の 2 つの条件を前提としています。(1) 本装置は有害な電波障害を引き起こす可能性があること。(2) 本装置は、誤動作を引き起こしうる干渉を含め、いかなる受信障害も許容しなければならないこと。

本クラス B デジタル装置は、カナダ ICES-003 に準拠しています

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

注意:

明示的に本装置の受領者が承認していない変更や改造により、機器を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

注意:

危険な可動部品が含まれていますので、指や身体部分を近づけないようにしてください。

10.改訂履歴

日付

内容

編集者

TSC **PRINTRONIX[®]**
AUTO ID